ａｐｒｉｃｏｔNOTE　GX
(Ｍ３４６４－Ｄモデル)
ハードウェアガイド

はじめに

このたびは、apricotNOTE をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本機は、高速な処理性能、大容量のハードディスクを備えた高性能パーソナルコンピュータです。
本機には、以下の説明書が添付されています。

●「ハードウェアガイド」…本書です。基本的な操作方法、オプション装置の増設方法、トラブルが生じた場合の対処などが記載されています。
本機をお使いの際は、はじめに必ず 本書をお読みください。

●「ハードウェア仕様」…本機の機器仕様、オプション一覧などが記載されています。

●「ソフトウェアガイド」…本機にプリインストールされているソフトウェアの基本的な使い方が記載されています。

●「ファーストステップガイド」…Windows95の説明書です。（Windows95モデルのみ）Windows95の基本的な操作やいろいろな機能が紹介されています。

●「ユーザーズガイド」…Windows3.1とDOS6.2/V の説明書です。（Windows3.1モデルのみ）Windows3.1とDOS6.2/Vの、基本的な操作やいろいろな機能が紹介されています。

本書では、apricotNOTE を以下のように記述することがあります。
それぞれ意味が異なります。

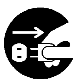
本機　　　：apricotNOTE GX（M3464-Dモデル）を意味しています。
（例）本機は、次のような特長をもつノートパソコンです。

本体装置：パソコン本体そのものを意味しています。
（例）本体装置の背面にあるコネクタに接続します。

安全のために必ず守ること

使い始める前に、この説明をよく読んで、正しく取り扱ってください。

ここに示した注意事項は、安全に関する大切な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
	このマークのついているイラストのように取り扱ってください。
	このマークのついているイラストのように取り扱うことを禁止します。

⚠警告

■ ACアダプタをご使用になる場合は、本機に付属の専用ACアダプタをご使用ください。また、本機以外には使用しないでください。

火災や故障の原因になります。

■ ACアダプタの端子をショート（短絡）させないでください。

火傷や火災の原因になります。

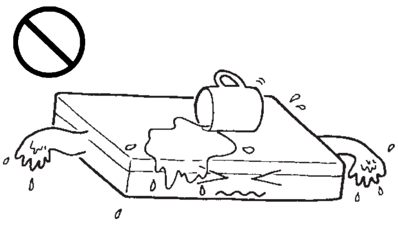
■ ACアダプタの内部には高圧部分がありますので、絶対に分解しないでください。

■本体装置や付属品を雨、水、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

火災や感電の原因になります。

■水やコーヒーなどの液体をこぼしたり、内部やすきまにクリップなどの金属片を落とさないでください。

火災や感電の原因になります。
万一、こぼしたり内部やすきまに金属片を落とした場合は、まず電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いて、お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口にご相談ください。





⚠警告

■ケーブルは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、ACケーブルの上に物を載せたり、ケーブル類を足で踏むことがないようにしてください。

ケーブルの被覆が傷つき火災や感電の原因になります。

■本体装置や付属品を改造したり、分解しないでください。

火災や感電の原因になります。

■内蔵バッテリの端子をショート(短絡) させないでください。

火傷や火災の原因になります。

■内蔵バッテリを火の中に投入しないでください。

破裂するおそれがあります。



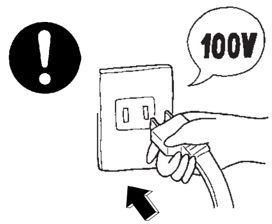
■煙が発生する、異常音がするなどの異常が発生した場合は、まず電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて内蔵バッテリを取り外してください。その後、お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口に修理依頼をしてください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。

⚠注意

■ ACアダプタには一般家庭用電源(AC100V)をご使用ください。

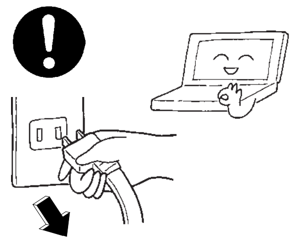
その他の電源を使用すると火災や故障の原因になります。



■ ACアダプタは次の注意に従って正しく取り扱ってください。

・屋内でのみご使用ください。雨や水などにさらされると火災や感電の原因になります。

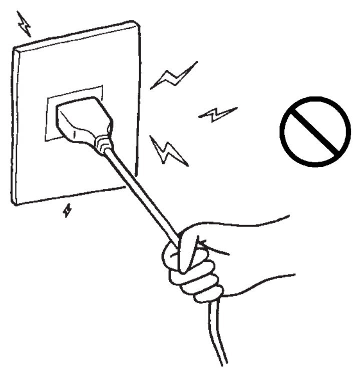
・ACアダプタを使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ ACケーブルや他のケーブル類は、次の注意に従って正しく取り扱ってください。

・タコ足配線はやめてください。火災の原因になります。

・ACケーブルを外すときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。



■万一液晶ディスプレイが破損し、液晶 (液体状) がもれた場合、液晶を口に入れたり、液晶の蒸気を吸い込んだりしないでください。

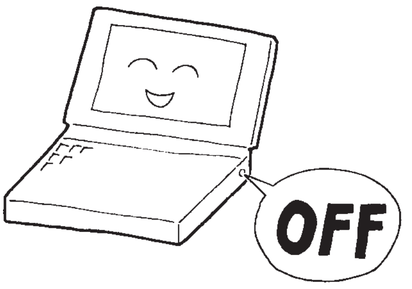
・誤って口に入れた場合は、十分にうがいをしてください。

・液晶が皮膚や衣服などに付着した場合は、すぐに石鹸でよく洗い流してください。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄してください。付着したまま放置すると、皮膚や衣服を傷めることがあります。

故障を防ぎ、快適にご使用いただくためのお願い

本　体　装　置

■ケーブルの接続、取り外しは、必ず本体装置および接続機器の電源を切ってから行ってください。



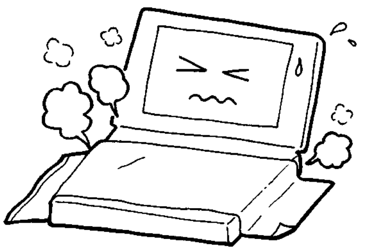
■次のような場所で使用しないでください。故障の原因になります。

・ほこりの多い場所
・湿度の高い場所
・直射日光の当たる場所
・ヒーターなど発熱機器の近く
・10℃以下または35℃以上の温度になる場所
・急激な温度変化のある場所
・震動の激しい場所
・スピーカなど強い磁場の近く

■電源を入れた後すぐに電源を切ったり、電源を切った後すぐに電源を入れたりしないでください。

ハードディスクの故障の原因になります。30秒以上待ってから行ってください。

■通電中は、風通しの悪い場所に置いたり布などをかけたりしないでください。加熱などにより故障の原因となります。



■フロッピーディスク使用中ランプがついているときは、電源を切ったり、移動したり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。データ破壊の原因になります。

■ファイル等を作成するときは、ハードディスクやフロッピーディスクの残容量を確認してください。容量が不足している場合は、ファイル等を保存することができません。

■本体装置の上に物を置かないでください。故障の原因となります。

■取扱いはていねいにしてください。

・本体装置やACアダプタを落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。
また、液晶ディスプレイを強く押したり、こすったりしないでください。キズがついたり、故障の原因となります。

■本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。しかし、ラジオやテレビジョン受信機に接近してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。受信障害がありましたら、次のような処置を行ってください。

・ラジオやテレビジョン受信機と本機を離してください。
・ラジオやテレビジョン受信機に対して本機の方向を変えてください。
・ラジオやテレビジョン受信機とは別系統のコンセントに本機のACケーブルを接続してください。

■冬期寒い戸外から急に暖かい室内に持ち込むと、結露することがあります。

結露した場合には、十分に乾燥させてから電源を入れてください。結露したまま電源を入れると故障の原因になります。

■内蔵バッテリや液晶ディスプレイは消耗品です。内蔵バッテリの動作時間が極端に短くなったり、液晶ディスプレイが暗くなりましたらお買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口にご相談ください。

フロッピーディスク

■重要なデータやプログラムのファイルを保存したフロッピーディスクは、常にバックアップをとって使用してください。

■重要なデータを保存したフロッピーディスクは、誤ってデータを消去してしまわないよう、つまみを書き込み禁止の位置に動かしておくことをお奨めします。

■磁気や熱に近付けないでください。データ破壊の原因になります。

■フロッピーディスクにラベルを貼るときは、段差に沿って平らに貼ってください。正しく貼らないとフロッピーディスクの出し入れができなくなることがあります。

■フロッピーディスク使用中ランプがついているときは、フロッピーディスクを抜かないでください。データ破壊の原因になります。

内蔵バッテリ

■内蔵バッテリを交換する際は、内蔵バッテリを取り外す前に本体装置の電源を切ってください。また、通電中は内蔵バッテリの取り付け／取り外しをしないでください。

故障の原因になります。

■落としたり、ぶつけたり、強いショックを加えないでください。故障の原因になります。

ハードディスク

■重要なデータやプログラムのファイルは、誤って消去しても被害が少なくて済むように、必ずバックアップをとることをお奨めします。

日常のお手入れ

■日常のお手入れには、乾いたやわらかい布をご使用ください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変色や変形、故障などの原因になります。

内蔵スピーカー

■内蔵スピーカー付近には強い磁場があります。フロッピーディスク等、磁場に影響を受けやすいものは、内蔵スピーカーの近くに置かないでください。

目　次

基本編

応用編

付録

基　本　編

1. お使いになる前に

1-1 おもな特長

本機は、次のような特長をもつノートパソコンです。

■高速で携帯性のよいコンパクト設計

CPUとして、Pentium® を搭載し高速化をはかりました。
また、サイズはA4サイズで、場所をとらず携帯性のよいノートパソコンです。

■高画質、高解像度の表示を実現

TFTカラーディスプレイまたはDSTNカラーディスプレイを採用し、高画質、高解像度（800×600ドット）の表示ができます。
さらに外部カラーディスプレイ装置を接続すれば、1024×768ドット表示が可能です。
Windowsのアプリケーションを鮮明な画面で快適にご利用いただけます。

■簡単に使いはじめられます

出荷時に基本ソフトウェア（Windows3.1またはWindows95）を、ハードディスクにプリインストールしてありますので、簡単に使いはじめることができます。

■大容量ハードディスクと、EDOメモリ搭載

大容量のハードディスクと高速なEDOメモリを搭載しています。
さらにメモリは、オプションの増設メモリキットで容量を増やすことができます。

■多彩なシステムアップができます

PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2準拠のスロットを２基標準装備しています。クレジットカードサイズのPCカードで、デスクトップパソコンの拡張ボードと同等の機能拡張を実現できます。
また、ZV（Zoomed Video）ポートをサポートしています。

■ポインティング操作が指先で行えます

本体装置のキーボード手前には、タブレットポインタが標準で取り付けてあります。Windowsでマウスと同じ操作が行えます。

■３モードフロッピーディスクをサポートしています

従来の3.5インチ720KB/1.44MBフロッピーディスクに加え1.2MBフロッピーディスクが利用できます（フォーマットはできません）。これにより、国内外の各社パソコンとのデータ交換が実現できます。

■サウンド機器をサポートしています

Sound Blaster™ Pro互換の16ビット・ステレオサウンドシステムを搭載しています。スピーカーやマイクも内蔵しており、高音質の音声を活用したビジネスプレゼンテーションが可能です。

■外部ディスプレイとの同時表示が可能です

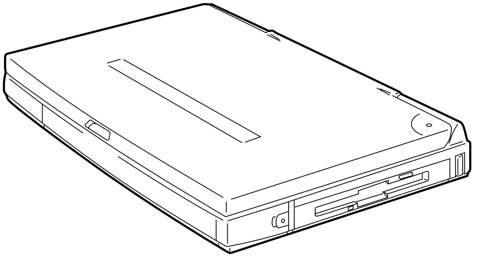
本体装置の液晶ディスプレイと外部カラーディスプレイ装置の同時表示が可能です。プレゼンテーションの場などで活用いただけます。

1-2 梱包物の確認

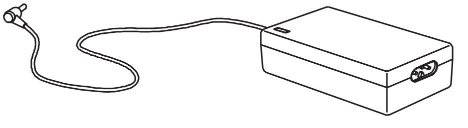
まず、箱からすべての部品を取り出してご確認ください。梱包材は、再輸送のために保存しておくことをお奨めします。
万一、梱包物が不足していたり破損していたりしたときは、すぐにお買い求めの販売会社にご連絡ください。

■梱包物

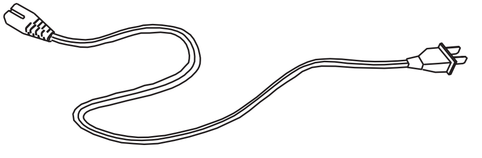
□本体装置



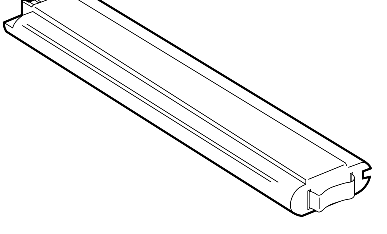
□ ACアダプタ



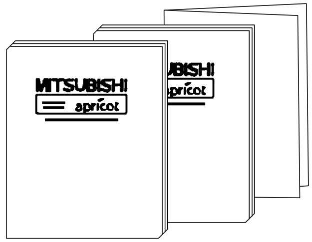
□ ACケーブル



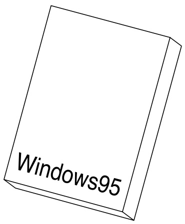
□内蔵バッテリ



□ハードウェアガイド（本書）、ソフトウェアガイド、ハードウェア仕様



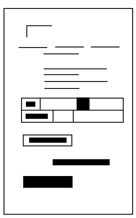
□ Windows95
マニュアル・パッケージ
（Windows95モデルのみ）



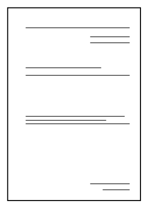
□ Win3.1/Dos6.2
combo パッケージ
（Windows3.1モデルのみ）



□本体装置の保証書



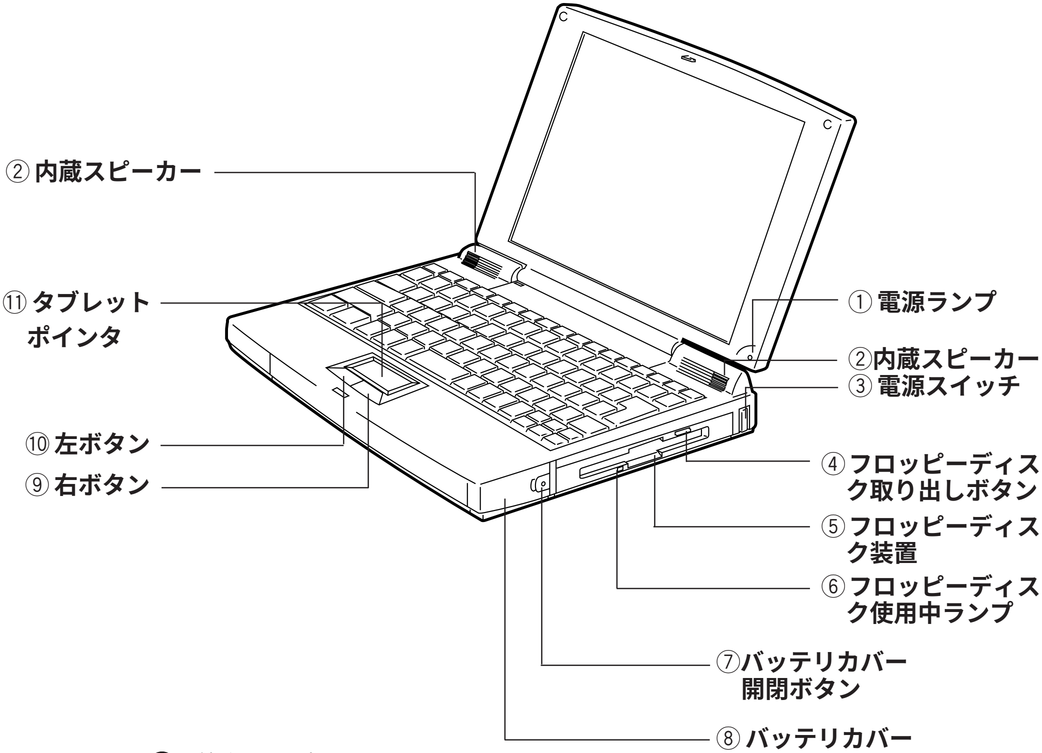
□三菱電機
お問い合わせのご案内



各ソフトウェアのインストール・ディスク（ソフトウェア導入用のフロッピーディスク）は添付されていません。初めて電源を入れたときプリインストールのソフトウェアのバックアップを取るかきいてきます。そのときは必ずバックアップを取ることをお奨めします。フロッピーディスク（3.5インチ 2HD 1.44MB）は市販のものをご用意ください。
詳しくは、『ソフトウェアガイド』を参照してください。

1-3 各部の名称と働き

■本体装置（前面、右側面）



① 電源ランプ

電源が入っているとき、または内蔵バッテリを充電しているときに点灯します。電源のオン／オフとバッテリの状態によりランプの色が以下のように変わります。

	本体装置の電源オン	本体装置の電源オフ
内蔵バッテリを充電していない	緑	消灯
内蔵バッテリを充電中	オレンジ※	赤※

※内蔵バッテリが満充電状態になると、電源ランプは緑色に変わります。

②内蔵スピーカー
オーディオ音声が出力できます。

③電源スイッチ
本体装置の電源を入れる／切るときに押します。また、サスペンドモードから復帰するときに押します。ただし、電源を切るときは、この電源スイッチを押す前に準備作業が必要です。詳しくは基本編2-2節を参照してください。

④フロッピーディスク取り出しボタン
フロッピーディスクを取り出すとき押します。フロッピーディスクの端が出てくるので、ゆっくり引き抜いてください。

⑤フロッピーディスク装置
1.44MB、1.2MB、720KBフロッピーディスクが使用できます。

⑥フロッピーディスク使用中ランプ
フロッピーディスク装置にアクセス中につきます。

⑦バッテリカバー開閉ボタン
内蔵バッテリを本体装置から取り外すときにこのボタンを押します。

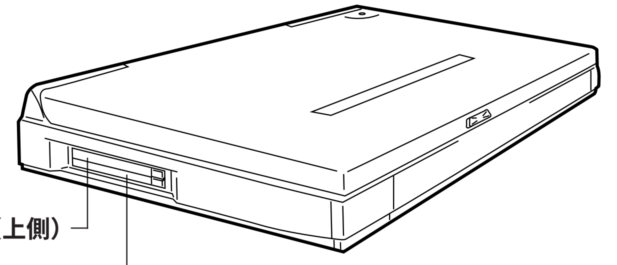
⑧バッテリカバー
内蔵バッテリのふたです。

⑨右ボタン
タブレットポインタのボタンでマウスの右ボタンに対応しています。

⑩左ボタン
タブレットポインタのボタンでマウスの左ボタンに対応しています。

⑪タブレットポインタ
マウスカーソルのポインティング操作ができます。

■本体装置（左側面）

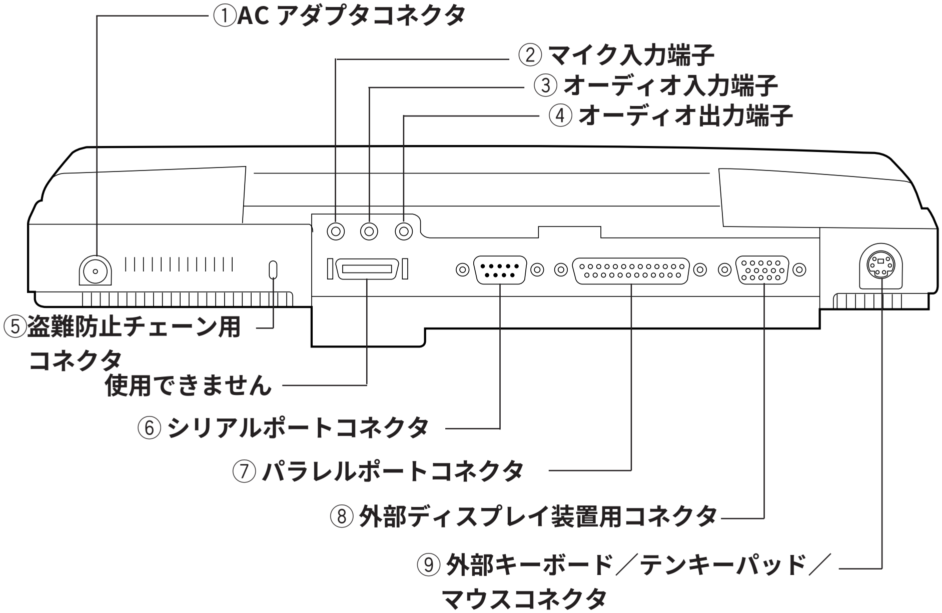


①PC カードスロット１（上側）
Type Ⅱ PC カード用です。PCMCIA2.1／ JEIDA4.2に準拠しています。

②PC カードスロット０（下側）
Type Ⅱ または Type Ⅲ PC カード用です。PCMCIA2.1／ JEIDA4.2に準拠しています。ZV （Zoomed Video）ポート対応の PC カードも利用できます。

■本体装置（背面）

カバーを開くと、オプション機器を取り付けるコネクタがあります。



① ACアダプタコネクタ
ACアダプタを接続します。

② マイク入力端子
マイクを接続できます。

③ オーディオ入力端子（ステレオミニプラグ用）
カセットデッキや音楽用CDプレーヤーの出力端子に接続できます。

④ オーディオ出力端子（ステレオミニプラグ用）
市販のヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーを接続できます。

⑤ 盗難防止チェーン用コネクタ
盗難防止用に、市販のチェーン錠を取り付けられます。

⑥ シリアルポートコネクタ
RS-232Cインタフェースを持つ機器を接続できます。

⑦ パラレルポートコネクタ
プリンタを接続できます。

⑧ 外部ディスプレイ装置用コネクタ
外部カラーディスプレイ装置を接続できます。

⑨ 外部キーボード／テンキーパッド／マウスコネクタ
外部キーボード、テンキーパッドまたはマウスのいずれかを接続できます。
マウスとテンキーパッドまたは外部キーボードとを同時に使用する場合は、市販のキーボード／マウス・コネクタを接続してください。

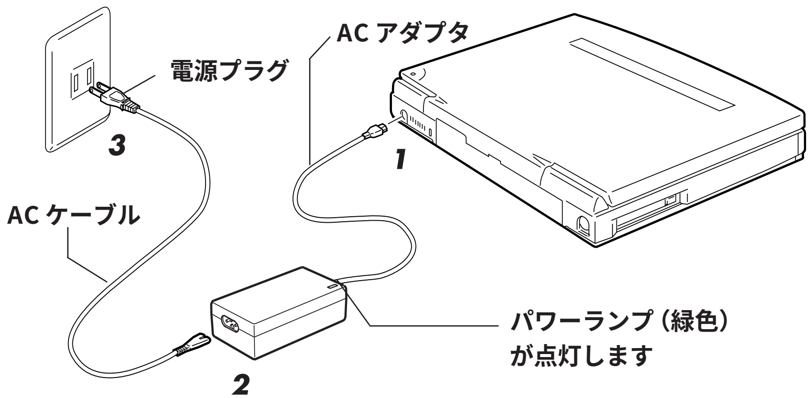
1-4 本体装置の準備

■ ACアダプタを使用する場合

1 ACアダプタを本体装置背面にあるACアダプタコネクタに接続します。

2 ACアダプタとACケーブルを接続します。

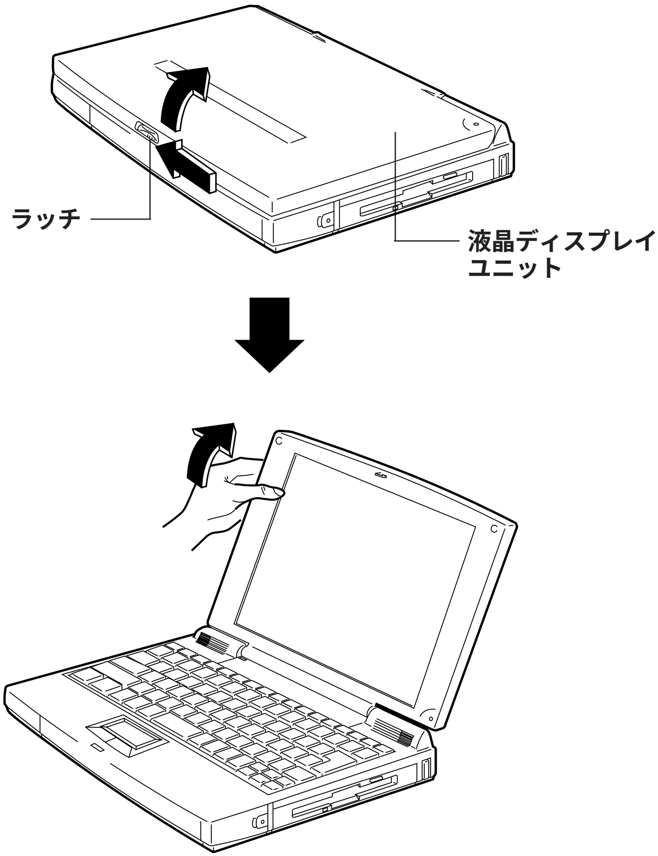
3 ACケーブルの電源プラグをコンセントに差し込みます。ACアダプタのパワーランプが点灯します。これでACアダプタの接続は完了です。



⚠注意

AC100Vの電源を使用してください。その他の電源を使用すると火災や故障の原因になります。

4 本体装置前面にあるラッチを左側にスライドさせて、液晶ディスプレイユニットを開きます。



液晶ディスプレイユニットを閉めるときは、ラッチがカチッと音をたてるまで静かに閉めます。勢いよく閉めないでください。液晶ディスプレイユニットを勢いよく閉めると、液晶ディスプレイユニットを破損することがあります。

■内蔵バッテリを使用する場合

出荷時には内蔵バッテリは本体装置に取り付けられていません。また、充電もされていません。内蔵バッテリを本体装置に取り付け、充電してからお使いください。

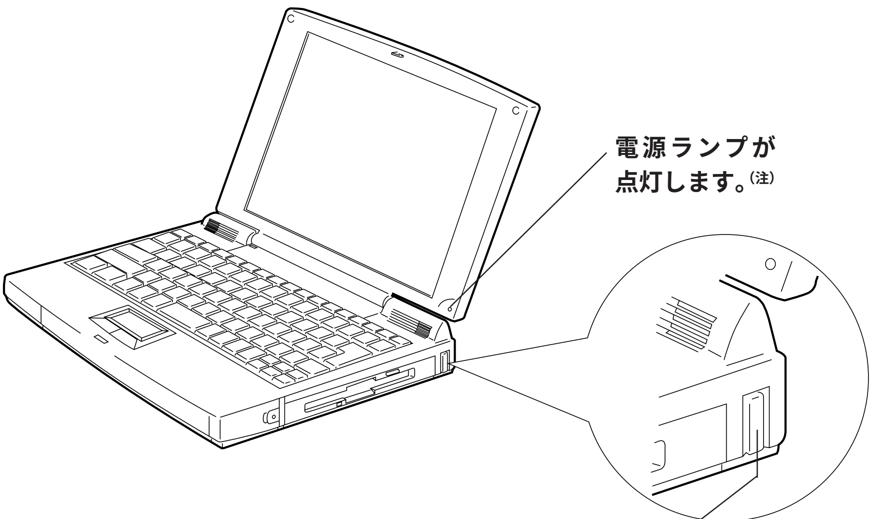
取り付け方法、充電方法、その他、内蔵バッテリの使用上の注意は基本編4章に記述されています。良くお読みの上、ご使用ください。

2. 基本的な操作のしかた

2-1 電源を入れる

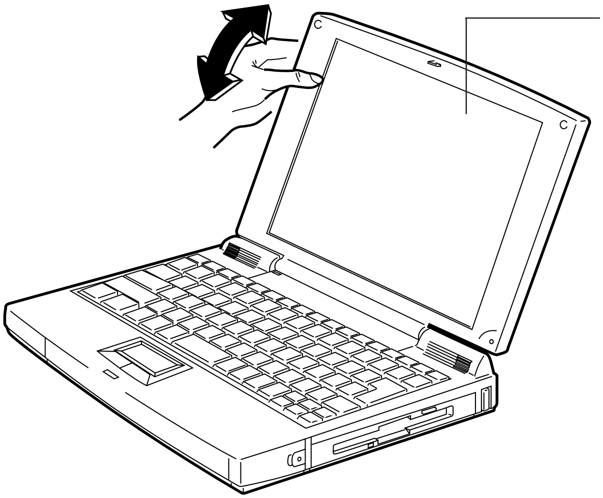
■電源の入れ方

1 本体装置の右側面奥にある電源スイッチを押します。電源が入ります。



（注）バッテリ充電中の場合、赤色からオレンジ色に変わります。

2 液晶ディスプレイの角度とコントラスト、輝度を見やすいように調整します。
液晶ディスプレイのコントラスト、輝度の調整は、ホットキー（ Fn ＆ F2 ）で行います。詳しくは、基本編2-3節を参照してください。（液晶ディスプレイがDSTNのモデルのみコントラストを調整できます。）



- 初めてWindowsを起動したとき、バックアップシート作成ユーティリティが自動的に起動します。詳しくは『ソフトウェアガイド』を参照してください。
- 本体装置の電源が入っている状態で、長時間、液晶ディスプレイユニットを閉めた状態にしないでください。本体装置の温度が上昇し、本体装置が正しく動作しない場合があります。

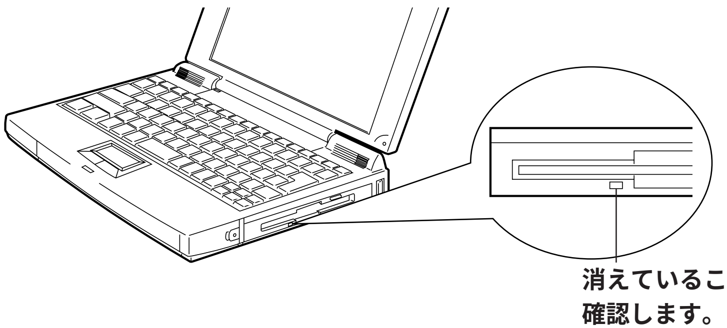
2-2 電源を切る

Windows3.1モデルとWindows95モデルでは、電源の切り方が異なります。なお、Windows3.1モデルでWindows95を使用している場合、Windows95モデルの説明をご覧ください。

■ Windows3.1 モデル

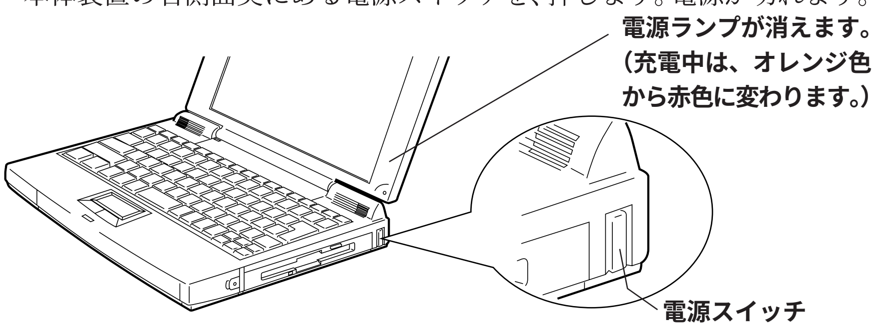
1 『ソフトウェアガイド』を参照してWindowsを終了させます。

2 フロッピーディスク使用中ランプが消えていることを確認します。



フロッピーディスク使用中ランプがついているときは、電源を切ったり、移動したり、フロッピーディスクを取り出したり、しないでください。データ破壊の原因になります。

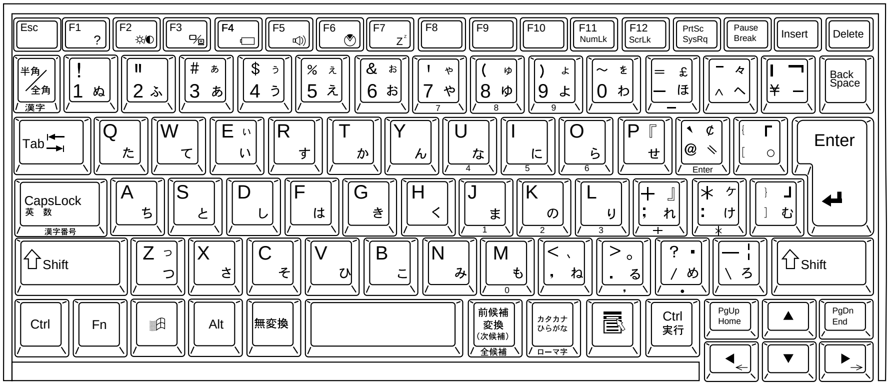
3 本体装置の右側面奥にある電源スイッチを、押します。電源が切れます。



■ Windows95 モデル

1. 『ソフトウェアガイド』を参照して Windows を終了させます。
2. 電源が自動的に切れます。ディスプレイ表示が消え、電源ランプが消灯（内蔵バッテリ充電中の場合はオレンジ色→赤色に変化）します。

2-3 キーボードを使う



キーを押すと、文字、数字、記号などキートップに表記されている文字が入力されます。これ以外に、以下に示すような特殊な働きをもつキーもあります。

■ Caps Lock キー

[Shift] を押しながら [CapsLock 英数] を押すと、ON と OFF が切り換わります。ON のときは、大文字入力状態となります。OFF のときは小文字入力状態となります。

文字の入力状態を示すランプ等は本機にはありません。実際に入力してご確認ください。
ただし、お使いになるソフトウェアによっては、画面に ON/OFF が表示される場合があります。

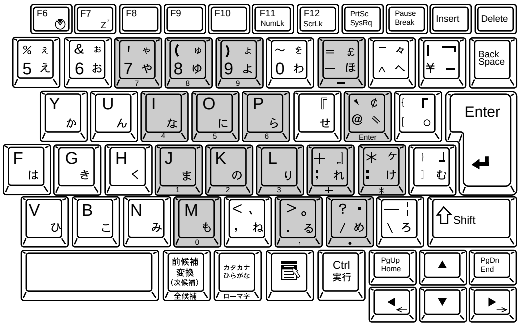
■ Scroll Lock キー

[Fn] を押しながら [F12 ScrLk] を押すと、ON と OFF が切り換わります。
このキーは特定のソフトウェアだけで動作します。

■ Num Lock キー

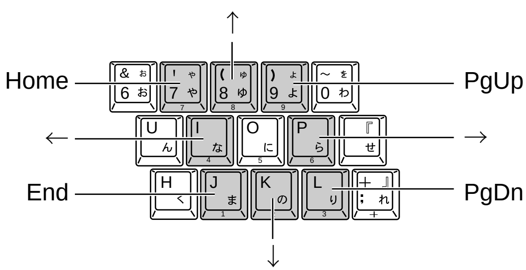
[Fn] を押しながら [F11 NumLk] を押すと、テンキー機能のONとOFFが切り換わります。

ONのときは、キーボードの一部をテンキーとして使用できます。



●キートップ手前に青色で表示された数字や記号が入力されます。

● [⇧Shift] を押しながらテンキーのキーを押すと、キーの役割が下図のように変わり、カーソルを移動できます。



●テンキー機能がONの状態で、[Fn] を押しながらテンキーのキーを押すと、テンキー機能がOFFの状態と同じ入力ができます

テンキー機能のON/OFFランプ等は本機にはありません。実際に入力してご確認ください。

ただし、お使いになるソフトウェアによっては、画面にON/OFFが表示される場合があります。

■ホットキー

以下に示す組み合わせで、キーを同時に押すと、特別な機能が働きます。これをホットキーと呼びます。

・"＆"は、あるキーを押しながら、そのまま他のキーも押すことを示します。
例えば"[Fn] ＆ [F1 ?]"は [Fn] を押しながら [F1 ?] を押すという意味です。
・ホットキーで表示させたアイコンを終了する場合は、[Fn] ＆ [Esc] を押します。
ただし、ヘルプだけは [Esc] のみで終了します。

ホットキー名	キー	機　能
リセット	[Ctrl] ＆ [Alt] ＆ [Delete]	プログラムの強制終了を行います。DOS では本体装置を再起動します。
ヘルプ	[Fn] ＆ [F1 ?]	ホットキーの使用方法を画面に表示します（英語）。また、矢印キーを使うと、ホットキーで表示されたアイコンの位置を変更できます。
コントラスト／輝度	[Fn] ＆ [F2] （輝度 コントラスト）	液晶ディスプレイのコントラストまたは輝度の設定アイコンが表示されます。（液晶ディスプレイの種類により異なります。） TFT 液晶：輝度のみ変更します。 DSTN 液晶：[Fn] ＆ [F2] を押すたびに、コントラストと輝度のアイコンが交互に切り換わります。 設定値を変更する場合は、[Fn] ＆ [◀] または [Fn] ＆ [▶] を押します。
ディスプレイ切り替え	[Fn] ＆ [F3]	表示するディスプレイ装置を切り替えます。押すごとに、LCD と CRT 同時表示、LCD 表示、CRT 表示に切り替わります。
バッテリ残量	[Fn] ＆ [F4]	バッテリの残量を表示します。アイコンの上部に表示される目盛が右いっぱいのとき、充電が 100%されています。

（つづく）

（つづき）

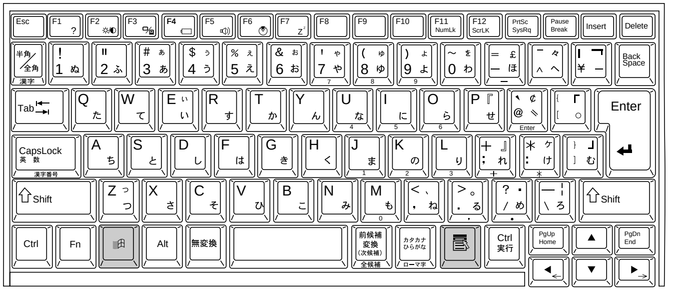
ホットキー名	キー	機　能
音量調節	[Fn] & [F5] ([音量ダイヤル])	内蔵スピーカーの音量を調節します。音量を上げる時は [Fn] & [→]、下げる時は [Fn] & [←] を押します。(注1)
セットアップ	[Fn] & [F6]	Advanced System Configuration画面だけ表示するセットアップ・ユーティリティを起動します。設定を変更しセットアップ・ユーティリティを終了しても、本体装置は再起動しません。
スタンバイ / サスペンド	[Fn] & [F7]	本体装置がシステムスタンバイモードまたはサスペンドモードに移行します(注2)。

（注１）ホットキーによる音量調節は一時的なものです。オーディオファイル／MPEGファイルの再生スタート時には既定値に戻ります。

（注２）セットアップユーティリティの［Power Management Mode］が "Enabled" の時のみ働きます。

■ Windows95 キー

キーボードにはWindows95専用のキーが２個あります。（Windows3.1では、このキーは使用できません。）



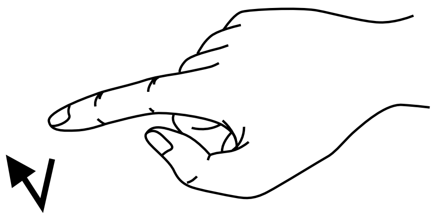
キー	機　能
Windowsロゴキー	このキーを押しながら別のキーを同時に押すことで以下のことが行えます。 ・　　スタートボタンをクリックするのと同じ。 ・　& Tab　起動中のアプリケーションを、タスクバー上で順次アクティブにする。 ・　& E　エクスプローラーを起動する。 ・　& F　ファイルやフォルダを検索する（[スタート] ─ [検索] ─ [ファイルやフォルダ] と同じ）。 ・　& M　すべてのウィンドウを最小化（アイコン化）する。 ・ Shift &　& M　　& M で最小化したウィンドウを元の大きさに戻す。 ・　& R　ファイル名を指定して実行（[スタート] ─ [ファイル名を指定して実行] と同じ）。
アプリケーション・キー	各種メニューを表示します。タブレットポインタやマウスの右クリックと同じです。表示されるメニューの種類は、現在何が選択されているかによって異なります。

2-4 タブレットポインタを使う

タブレットポインタは、PS/2マウス互換のポインティングデバイスです。指先でタブレット面に触れることにより、マウスと同様に使用することができます。

・操作は指で行ってください。爪やペンなどでの操作はできません。
・タブレット面に指をつける箇所は１箇所に限ります。同時に２箇所以上指をつけると正常に動作しません。
・タブレットポインタの左右のボタンは、それぞれマウスの左右のボタンに対応します。
・タブレット面をタッピング（軽くたたく）することで、左ボタンと同等の操作が行えます。

●クリック
１回タッピングする。



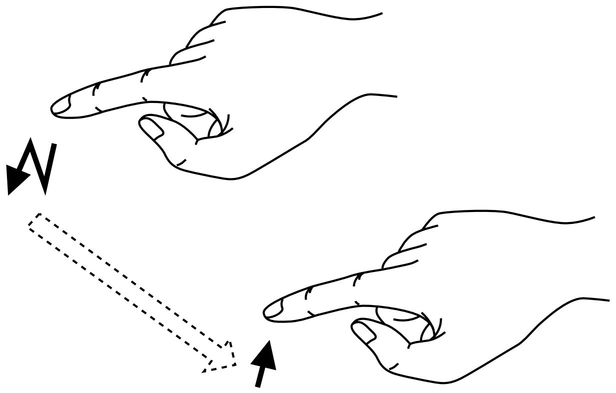
●ダブルクリック
２回連続してタッピングする。



●ドラッグ

1 2回連続してタッピングし、2回目はタブレット面から指を離さない。

2 タブレット面につけた指をそのまま目的の位置まですべらせ、カーソルを移動する。



3 指をタブレット面から離す。

- タブレット面に触れるときは、指の先よりも指の腹で触れたほうが確実に動作します。
- タッピングの操作は、タブレット面を強くたたくより軽くたたく方が確実に動作します。
- タブレット面に水滴が付いたまま操作したり、濡れた指で操作することは避けてください。故障または誤動作の原因になります。
- タブレットポインタ用ドライバとして、タッチパッドユーティリティがプリインストールされています。詳しくは、『ソフトウェアガイド』を参照してください。

2-5 フロッピーディスクを使う

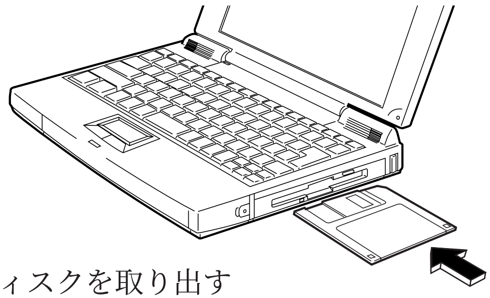
本機では、以下のフロッピーディスクが使えます。空きフロッピーディスクや、媒体がフロッピーディスクで提供されるアプリケーションは、これらのいずれかを購入してください。

①3.5インチ 2HD　1.44MBフォーマット
②3.5インチ 2DD　720KBフォーマット
③3.5インチ 2HD　1.2MBフォーマット

1.2MBフォーマットのフロッピーディスクを使用する場合、準備操作が必要です。詳しくは『ソフトウェアガイド』を参照してください。

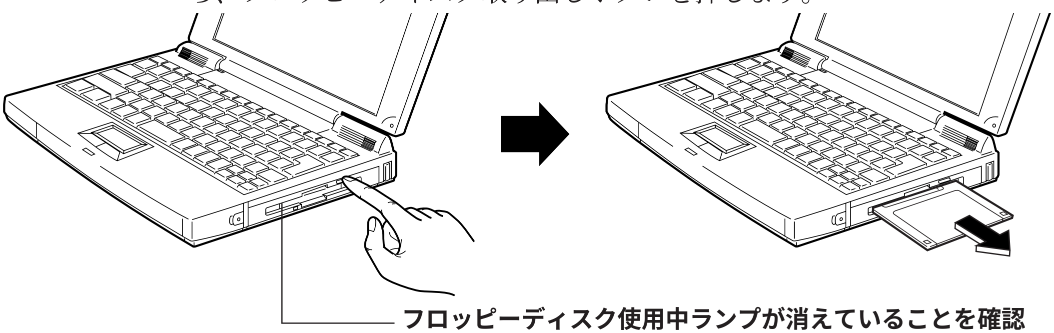
■フロッピーディスクを入れる

下図のような向きで、入れてください。



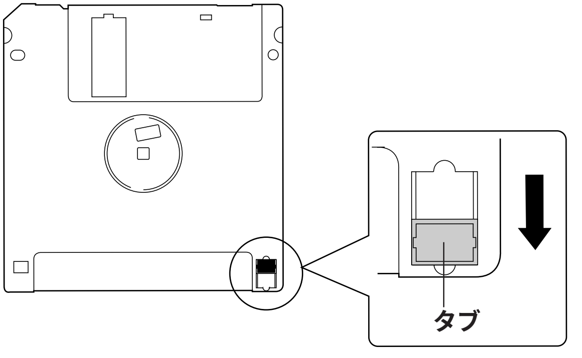
■フロッピーディスクを取り出す

必ず、フロッピーディスク使用中ランプが消えていることを確認してから、フロッピーディスク取り出しボタンを押します。



■フロッピーディスクの書き込みを禁止するには

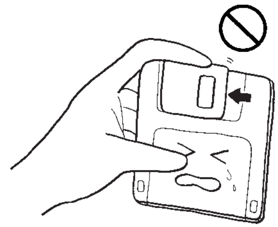
下図のように、タブをスライドさせ書き込み禁止にします。
フロッピーディスク内の大切なデータを、誤って削除したり、変更したりすることを妨げます。



・書き込み禁止にしたフロッピーディスク内のデータ削除、変更しようとすると、「書き込み禁止です」という意味のメッセージが表示されます。削除、変更は行われません。
・書き込み禁止のフロッピーディスクには、新しくデータを追加することもできません。
・タブを元の位置に戻せば、データの削除、変更、追加が可能になります。

■フロッピーディスクの取り扱い

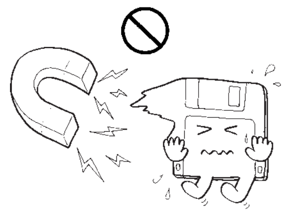
フロッピーディスクはとてもデリケートです。大切なデータを守るため、以下の点に注意してください。注意を無視して誤った取り扱いをすると、フロッピーディスク内のデータが壊れたり、本体装置のフロッピーディスク装置が故障したりすることがあります。



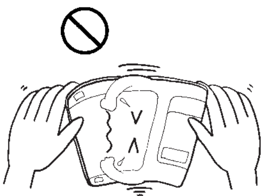
シャッターを開けないでください。



溶剤類は絶対に付けないでください。



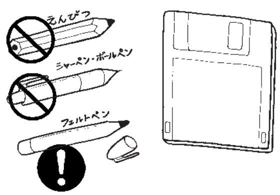
磁石を近付けないでください。



折り曲げないでください。



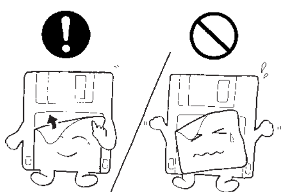
クリップで挟まないでください。



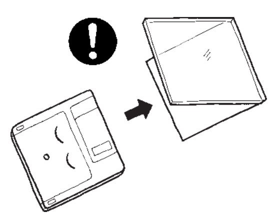
ラベルはフェルトペンで記入してください。



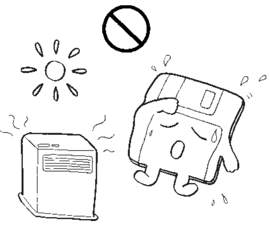
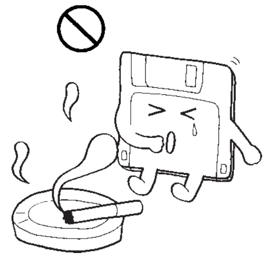
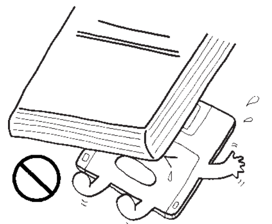
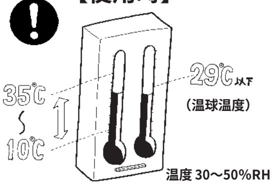
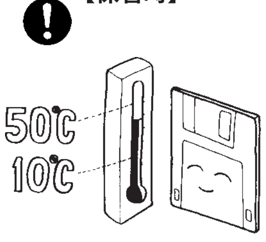
ラベルの文字を消しゴムで消さないでください。



ラベルは正しい位置に貼ってください。



使用後はケースの中へ入れてください。

 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くには置かないでください。	 タバコの煙に近付けないでください。	 上にものを載せないでください。
【使用時】  気温10〜35℃、湿球温度29℃以下、湿度30〜80%RHの場所で使用してください。	【保管時】  気温10〜50℃の場所で保管してください。	

3. 日常のお手入れ

3-1 バックアップ

トラブルに備えてデータやプログラムのコピーを取っておくことをバックアップといいます。バックアップを行っておけば、何らかの原因でファイルが壊れたり、消えたりしても被害を少なくすることができます。
重要なファイルは、こまめにバックアップをとることをお奨めします。

また、本体装置のハードディスクにあらかじめインストール（プリインストール）されているソフトウェアは、必ずバックアップを行ってインストール・ディスクを作成してください。インストール・ディスクは再インストールや設定変更を行うときに必要ですが、本機には添付されていません。
インストール・ディスクの作成手順は『ソフトウェアガイド』を参照してください。

3-2 清掃

本機は、以下の要領で清掃してください。

・シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変色、変形、故障などの原因になります。
・コネクタやフロッピーディスク装置の近くでクリーニング液やスプレーを使わないでください。
・フロッピーディスク装置のヘッドが汚れていると、正常にフロッピーディスクを読み込んだり、書き込んだりできなくなります。

■本体装置の表面、キーボード

・清掃を始める前に本体装置の電源を切り、ACアダプタと内蔵バッテリを本体装置から外してください。
・本体装置の表面は、軽く湿らせた布に中性洗剤を付けて汚れを拭き取ります。
・キーボード表面の汚れは、軽く湿らせた布にごく少量の中性洗剤を付けて拭き取ります。キーの間に水、洗剤が流れ込まないように注意してください。

■フロッピーディスク装置

市販のFDDヘッド・クリーニング・シートを使ってヘッド（データを読み書きする部分）を定期的に清掃します。

4. 内蔵バッテリを使う

4-1 内蔵バッテリを上手に使う

本機は、内蔵バッテリで動作させることができます。
内蔵バッテリの動作時間は通常約2.5時間、充電可能回数は通常約300回です。

■内蔵バッテリ使用時の注意

●以下の状態の内蔵バッテリを使用するときには、動作時間が短い場合があります。充電と放電を、数回繰り返してからご使用ください。
- ・購入直後の内蔵バッテリ
- ・長時間使用していない内蔵バッテリ
- ・使い切る前に小刻みに充電した内蔵バッテリ

放電、充電の方法は、基本編4-3節、4-4節を参照してください。

●内蔵バッテリの動作時間は、以下の要因によって異なります。
- ・パワーマネージメント機能の設定の違い
- ・起動中のアプリケーションの種類
- ・システムの構成要素

など

●ネットワークで使用するときは、ACアダプタを使用してください。（この時、内蔵バッテリを取り付けたままでもかまいません。）内蔵バッテリで使用すると、内蔵バッテリの容量が少なくなり、システムスタンバイモードやサスペンドモードに移行した後、ネットワーク側でエラーが起こる可能性があります。

●内蔵バッテリを、0℃以下または40℃以上の場所に放置しないでください。

●内蔵バッテリを長時間使用しない場合は、内蔵バッテリを使い切ってから、湿度が少なく温度の低い場所で保存してください。これを守らないと、バッテリ寿命が短くなります。

●内蔵バッテリの端子にほこりがたまらないように、きれいにしておいてください。

■内蔵バッテリ使用中の動作時間をのばすには

・内蔵バッテリは、使い切ってから充電してください。
・パワーマネージメント機能で省電力の設定をします。これにより、消費電力が抑えられます。
詳しくは、応用編3-4節を参照してください。
・パラレルポートとシリアルポートに何も接続していない場合、これらのポートを無効にしてください。
詳しくは、応用編3-6節を参照してください。
・温度が低すぎたり、高すぎるとバッテリの使用時間は短くなります。
10℃～35℃でご使用ください。

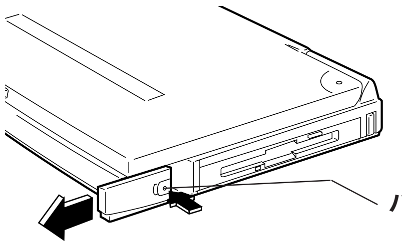
4-2 内蔵バッテリを取り付ける

内蔵バッテリの取り付け／取り外しは本体装置の右側面で行います。

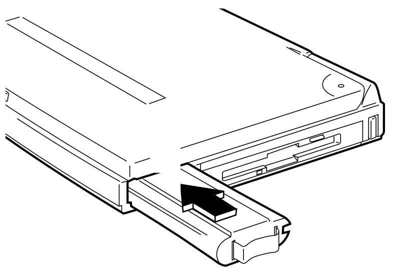
■取り付け手順

1 本体装置の電源を切り、AC アダプタを本体装置から外します。

2 バッテリカバー開閉ボタンを押しながら、バッテリカバーを手前に引き、取り外します。



3 内蔵バッテリを、端子がある方を上にして本体装置に入れます。

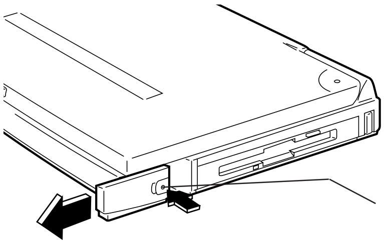


4 バッテリーカバーを取り付けます（カチッと音がするまでスライドさせます）。

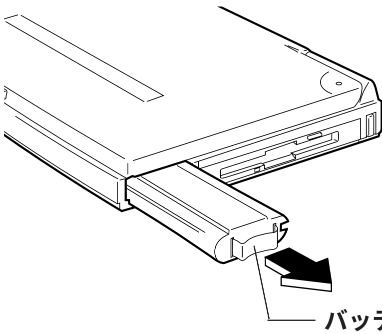
■取り外し手順

1 本体装置の電源を切り、ACアダプタを本体装置から外します。

2 バッテリカバー開閉ボタンを押しながらバッテリカバーを手前に引き出します。



3 バッテリ取り出しつまみを持って、バッテリをぬき出します。



4 本体装置にバッテリカバーを取り付けます（カチッと音がするまでスライドさせます）。

4-3 内蔵バッテリを放電する

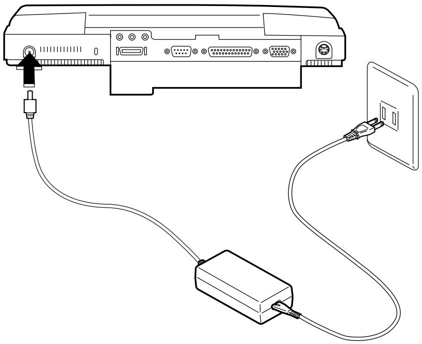
動作時間を長持ちさせるために、内蔵バッテリを充電するときは、その前に使いきった状態にする必要があります。
セットアップ・ユーティリティを起動し、電源が切れるまでACアダプタを外した状態でそのまま放置してください。
セットアップ・ユーティリティについては、応用編３章を参照してください。

4-4 内蔵バッテリを充電する

内蔵バッテリの充電は以下の手順で行います。

充電を行う前に前節を参照して、内蔵バッテリを使いきった状態にしてください。

1. 本体装置の電源を切ります。
2. 内蔵バッテリを本体装置に取り付けます。
3. AC アダプタを本体装置に接続します。
4. ACケーブルをACアダプタに接続し、ACケーブルの電源プラグをコンセントに差し込みます。



⚠注意

AC100Vの電源を使用してください。その他の電源を使用すると火災や故障の原因となります。

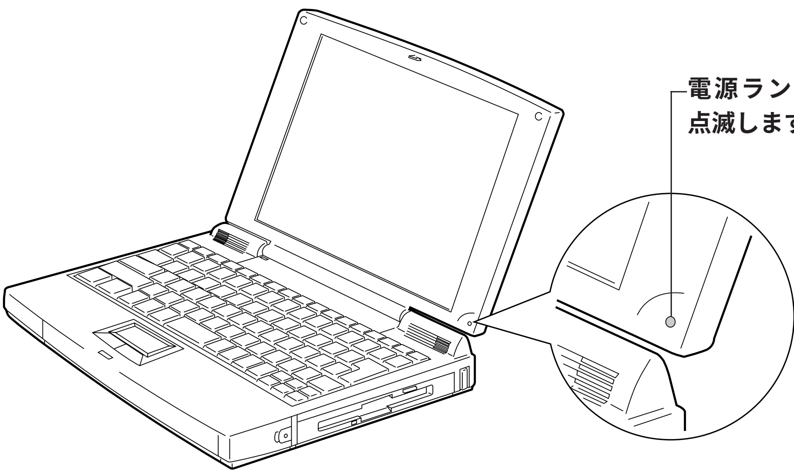
5. この後、本体装置の電源を入れれば、本機を使用しながら充電することもできます。
   ただし、電源を切った状態で充電すると、電源を入れた状態で充電するより早く充電できます。

充電方法	充電時間	電源ランプ	
		充電中	充電終了後
電源を切った状態で充電	約２時間	赤色	消灯
電源を入れた状態で充電	約6〜8時間	オレンジ色	緑色

4-5 内蔵バッテリの残量が少なくなると

■内蔵バッテリの残量が少なくなると

本体装置を内蔵バッテリで使用しているときは、電源ランプに注意してください。電源ランプが点滅しているときはバッテリ警告状態です。内蔵バッテリの残量が少なくなっています。



セットアップ・ユーティリティで［Battery-low Warning Beep］を "Enabled" に設定していると単音４回の警告音が１分に１度鳴ります。
詳しくは応用編3-7節を参照してください。

■バッテリ警告時の対処

出荷時の設定では、バッテリ警告発生後、3分以内（内蔵バッテリの充電状態により異なります）に、自動的に本機はサスペンドモードに移行します。
バッテリ警告発生により本機がサスペンドモードへ移行した場合、以下のように対処してください。

対処1　ACアダプタを接続すれば、続けて使用できます。サスペンドモードから復帰するには、電源スイッチを押します。

対処2　充電済みの予備の内蔵バッテリがある場合、基本編4-2節を参照して内蔵バッテリを交換し、電源スイッチを押せば、続けて使用できます。

対処3　ACアダプタも予備の内蔵バッテリも用意できない場合は、続けて使用することはできません。（次回起動時には、ACアダプタを接続してください。）

セットアップ・ユーティリティの設定を変更することにより、バッテリ警告が発生してもサスペンドモードへ移行しないようにすることも可能です。
この設定変更を行った状態で、バッテリ警告の発生後に内蔵バッテリを完全に使い切ると、作業の途中でも本体装置の電源が切れます。このため、保存していないデータが消失するのはもちろん、場合によってはWindowsや本体装置が故障することもあります。
バッテリ警告が発生したら、すみやかに以下のいずれかの対処を行ってください。

対処1　ACアダプタを接続すれば、続けて使用できます。

対処2　ACアダプタが用意できない場合は、まず作業中のデータを保存し、Windowsを終了して本体装置の電源を切ってください。充電済みの予備の内蔵バッテリがあれば、この後、内蔵バッテ

リを交換して本機を続けて使用できます（交換方法は基本編4-2節参照）。

予備の内蔵バッテリが無い場合は、続けて使用することはできません。（次回起動時はACアダプタを接続してください。）

応　用　編

1. システム拡張のしかた

1-1 ＰＣカードを取り付ける

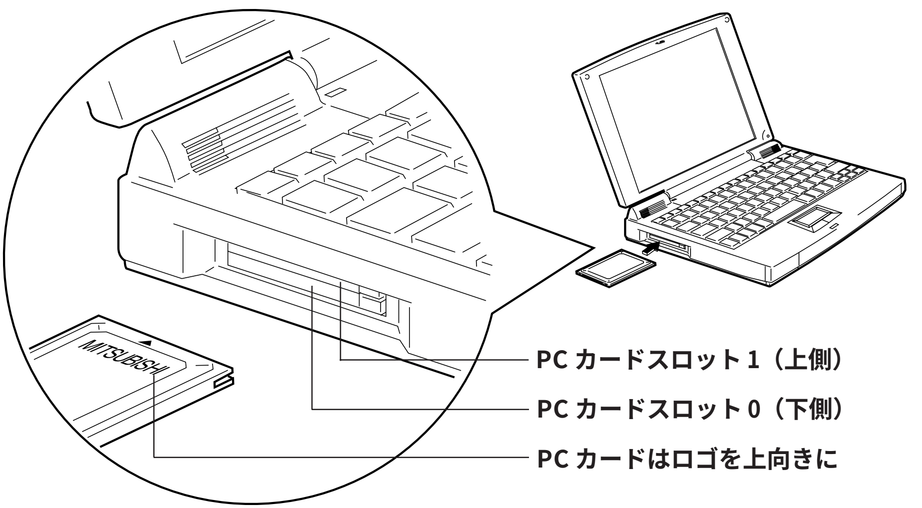
PC カードスロット０と PC カードスロット１に、PC カードを１枚ずつ取り付けて使えます。

・PC カードスロット０には TypeⅡ、TypeⅢ または ZV ポート対応の PC カードが使用できます。
・PC カードスロット１には TypeⅡ の PC カードのみ使用できます。
・TypeⅢ の PC カードを取り付けた場合は、他の PC カードを同時に取り付けることはできません。TypeⅡ の PC カードは２枚取り付けることができます。

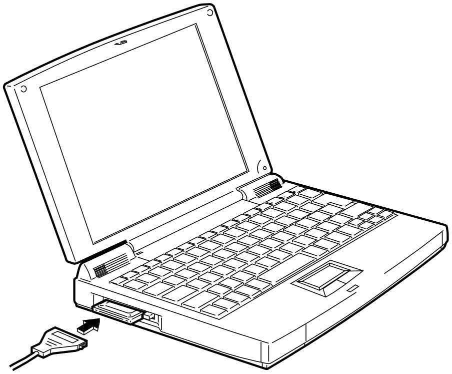
■取り付け手順

1 本体装置の電源を切ります。

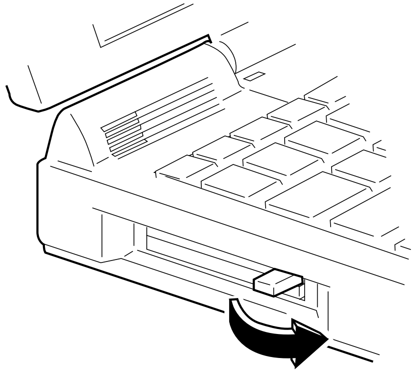
2 PCカードを、図の向きに突き当たるまでゆっくり差し込みます。このとき、PC カードのロゴが上になるようにしてください。



3 ケーブルを接続する必要のある場合は、ケーブルを接続します。
詳しくはPCカードの説明書を参照してください。



4 イジェクトボタンを軽く引っぱってから、手前に倒します。

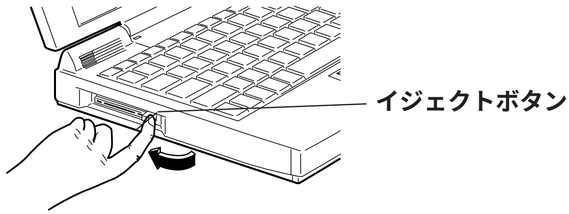


5 PCカードは､スロットに挿入した時点では単なるメモリカードに過ぎません（PCカード内には、そのカードがどんなカードであるのかのID情報が入っています)。取り付け後、初期化を行ってLANカードやFAXモデムカードといった各々の機能をもったカードに設定する必要があります。
詳しくは､『ソフトウェアガイド』を参照してください。

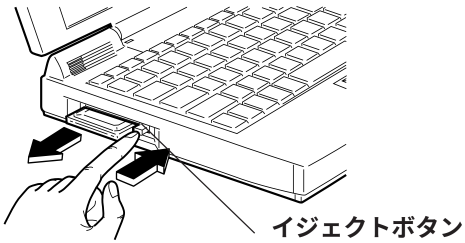
■取り外し手順

1 『ソフトウェアガイド』を参照してPCカードの終了操作を行います。

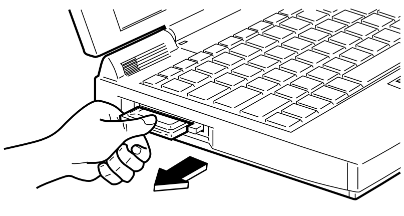
2 PCカードを取り出すスロットのイジェクトボタンを起こします。



3 イジェクトボタンを押しこんでください。PCカードの端が出てきます。



4 PCカードの端を持って、ゆっくりと引き抜いてください。



使用中、PCカードは高温になることがあります（故障ではありません）。

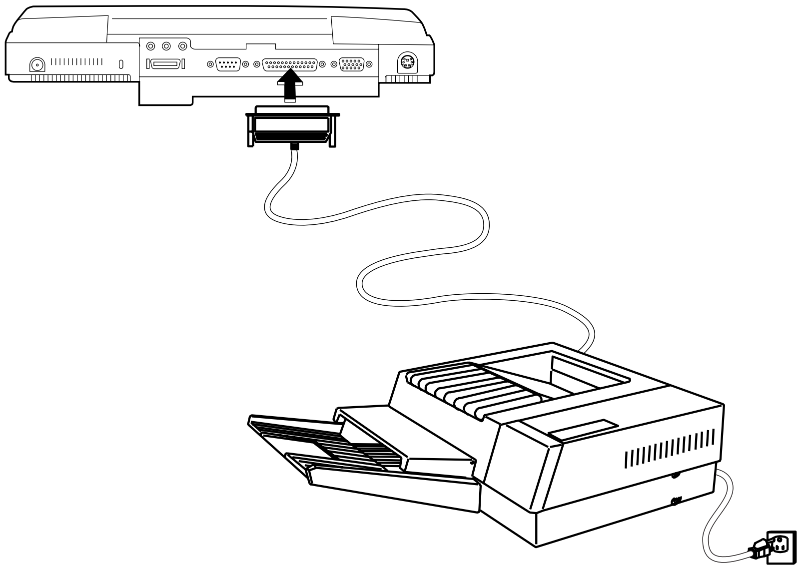
1-2 プリンタを接続する

パラレルポートにプリンタを接続することができます。

■取り付け手順

1 本体装置の電源を切ります。

2 本体装置背面のパラレルポートコネクタにプリンタケーブルのコネクタを差し込み、ネジを回して固定します。
プリンタ側の接続はプリンタの説明書を参照してください。



3 プリンタの電源を入れます。

4 本体装置の電源を入れます。

・本体装置の電源を入れる前に、プリンタの電源を入れるようにしてください。
詳しくは、プリンタの操作説明書を参照してください。
・取り外すときは、必ずプリンタの電源を切り、本体装置の電源を切ってから行ってください。
・プリンタを使用する場合、パラレルポートの設定は、セットアップ・ユーティリティの System Security 画面の中の On Board Communication Ports にある［Parallel Port Base Address］で設定できます。
設定方法は応用編3-6節を参照してください。

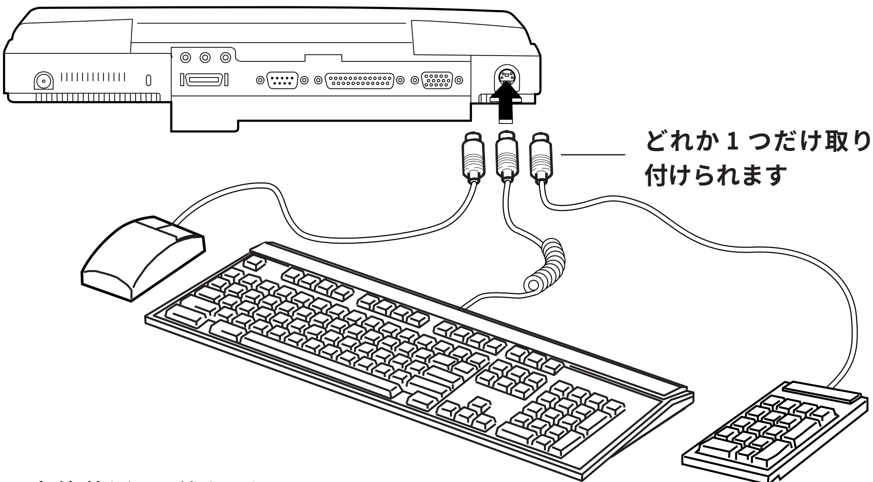
1-3 外部キーボード、テンキーパッド、マウスを接続する

PS/2 インタフェースをもつキーボード、テンキーパッド、マウスのどれか１つを取り付けることができます。

■取り付け手順

1 本体装置の電源を切ります。

2 本体装置背面の外部キーボード／テンキーパッド／マウスコネクタに、各機器のコネクタを差し込みます。



3 本体装置の電源を入れます。

・PS/2 マウスを使用する場合は、ドライバの変更が必要です。詳しくは『ソフトウェアガイド』を参照してください。
・取り外すときは、必ず本体装置の電源を切ってから行ってください。
・市販のキーボード／マウス･コネクタを外部キーボード／テンキーパッド／マウスコネクタに接続すれば、マウスとテンキーパッド、またはマウスと外部キーボードとを同時に使用できます。
詳しくは､お買い求めの販売会社､または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。

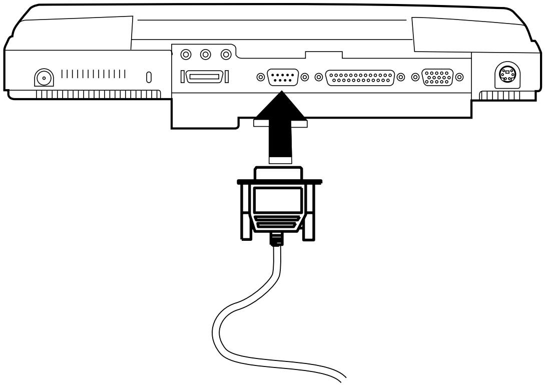
1-4 RS-232C機器を接続する

バーコードハンドスキャナなど、RS-232Cインタフェースを持つ機器が使用できます。

■取り付け手順

1 本体装置の電源を切ります。

2 本体装置背面のシリアルポートに、接続したいRS-232C機器のコネクタを差し込み、ネジを回して固定します。



3 RS-232C機器の電源を入れます（RS-232C機器に電源がある場合）。

4 本体装置の電源を入れます。

・取り外すときは、必ずRS-232C機器の電源を切り、本体装置の電源を切ってから行ってください。
・シリアルポートの設定は、セットアップ・ユーティリティのSystem Security画面の中のOn Board Communication Portsにある［Serial Port 1 Base Address］で設定できます。
設定方法は応用編3-6節を参照してください。

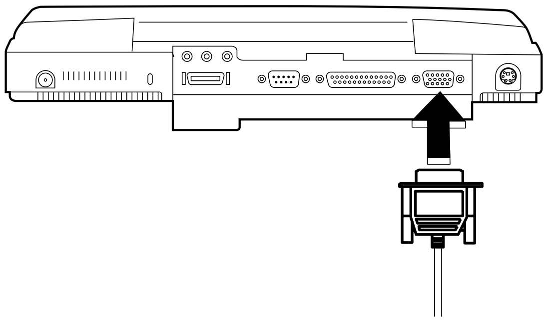
1-5 外部カラーディスプレイ装置を接続する

カラーディスプレイ装置を接続することができます。

■取り付け手順

1 本体装置の電源を切ります。

2 本体装置背面の外部ディスプレイ装置用コネクタに、外部カラーディスプレイ装置のコネクタを差し込み、ネジを回して固定します。
外部カラーディスプレイ装置の説明書も参照してください。



3 外部カラーディスプレイ装置の電源を入れます。

4 本体装置の電源を入れます。

・常に、カラーディスプレイ装置の電源を入れてから本体装置の電源を入れるようにしてください。
・取り外すときは、必ず外部カラーディスプレイ装置の電源を切り、本体装置の電源を切ってから行ってください。
・外部カラーディスプレイ装置と液晶ディスプレイとの表示切り替えは、ディスプレイ切り替えのホットキー（Fn & F3）、またはセットアップ・ユーティリティの Advanced System Configuration画面の［Display Device］で行います。
・VGAの解像度で同時表示を行う場合でも、外部カラーディスプレイ装置はSVGA対応のものが必要です。

1-6 オーディオ機器を接続する

本機には3.5mmステレオ・ミニジャックのオーディオ入力端子、オーディオ出力端子、マイク入力端子があります。

■オーディオ機能とは

オーディオ機能を使うと音声波形を加工したり、Waveform（波形）と呼ばれるデータ形式でファイルに保存したりできます。
Waveform データは、".WAV"の拡張子のファイルや画像データと一緒に圧縮して".AVI"ファイルに保存したり、Windowsアプリケーションで加工したりできます。

■オーディオ機器の接続

オーディオ入力端子

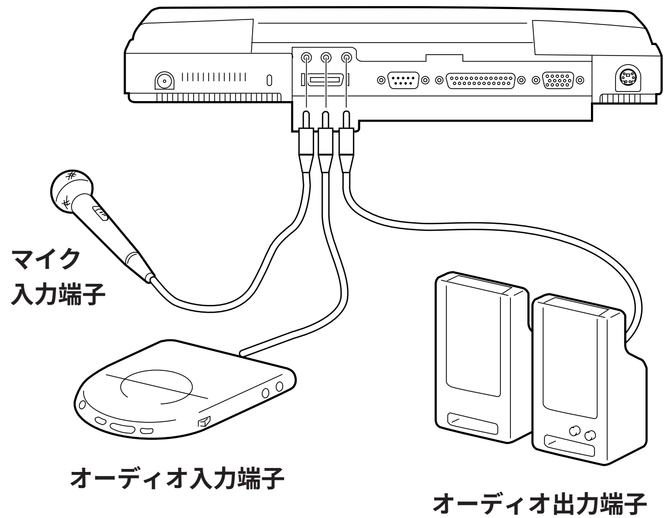
市販のカセットデッキ、ミニディスク（MD）プレーヤー、DATプレーヤーなどを接続して、本体装置の内蔵スピーカーで音声を聞くことができます。次のオーディオ機器の端子を接続できます。
・カセットテープやオーディオ CD などのヘッドフォン出力端子
・オーディオ機器からのライン出力端子

マイク入力端子

本体装置に市販のマイクを接続して、音声を録音（ファイルに保存）したり、加工したりできます。マイク入力端子にはマイクロフォン（低感度／高感度）を接続できます。入力端子の感度（録音レベル）は本体装置にインストールされているソフトウェアで変えられます。
詳しくは、『ソフトウェアガイド』を参照してください。

オーディオ出力端子

オーディオ出力端子には、市販の出力装置（ヘッドフォン、アンプ内蔵スピーカー、カセットデッキ、ミニディスク（MD）プレーヤー、DATプレーヤーなど）を接続することができます。
本体装置内蔵のスピーカーからもオーディオ音声が出力されます。質の高いオーディオ音声をお聞きになる場合には、ヘッドフォン、アンプ内蔵スピーカー、カセットデッキ、ミニディスク（MD）プレーヤー、DATプレーヤーなどを接続してください。



2. メモリを増設する

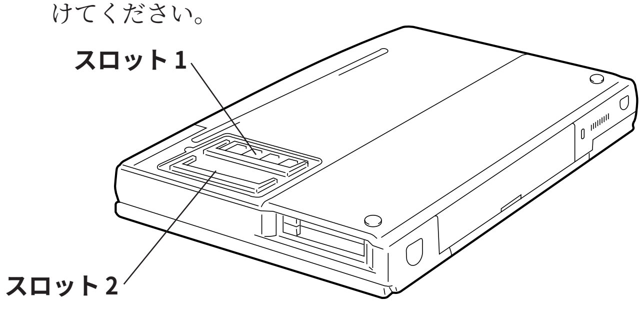
本体装置にオプションの増設メモリキット（高速のEDOメモリを採用）を装着し、メモリ容量を拡張できます。

■メモリ構成

本機には、DIMM（デュアル・インライン・メモリ・モジュール）用のコネクタが２個付いています。このコネクタに増設メモリキット（別売り）を取り付け、メモリを増設します。なお、本機で使用可能なメモリ構成（メモリの組み合わせ）は、以下の通りです。

増設メモリキット	メモリの組み合わせ		メモリ総容量	備考
	DIMM（スロット１）	DIMM（スロット２）		
取り付けない場合	16MB	なし	16MB	出荷時
	なし	16MB	16MB	出荷時
取り付けた場合	16MB	8MB	24MB	
	8MB	16MB	24MB	
	16MB	16MB	32MB	
	なし	32MB	32MB	注１、２
	8MB	32MB	40MB	注１、２
	16MB	32MB	48MB	注２、３

（注１）標準装備のメモリ（16MB）を取り外す必要があります。
（注２）メモリ（32MB）はスロット２に取り付けてください。
（注３）標準装備のメモリ（16MB）がスロット２に取り付けられている場合、メモリ（16MB）をスロット１に移動し、メモリ（32MB）をスロット２に取り付けてください。



■取り付け手順

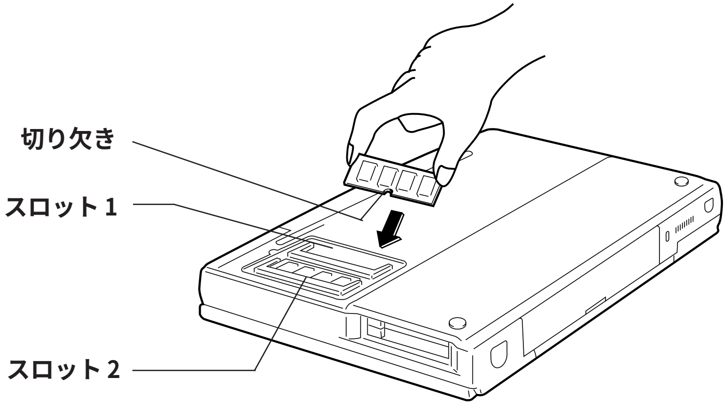
1 本体装置の電源を切り、内蔵バッテリとACアダプタを本体装置から外します。液晶ディスプレイユニットが確実に閉じていることを確認してください。

2 本体装置を裏返しに置きます。

3 金属性のものに手を触れて身体の静電気を取り除きます。

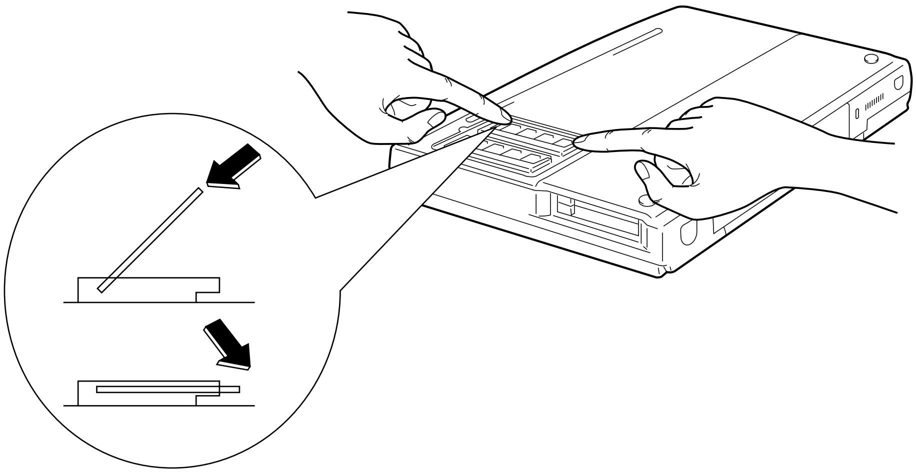
4 増設メモリカバーを留めているネジを取り外し、増設メモリカバーを外します。

5 増設メモリキットをコネクタに取り付けます。切り欠きが本体装置のコネクタの境界部に合うように斜めに差し込みます。



・32MB増設メモリキットは、スロット２に取り付けてください。スロット１には取り付けられません。
・本体装置内部の他の機器に触れないように注意してください。
・増設メモリキットは両側を持ちます。金属部分に触れないように注意してください。

6 上部を押さえ、カチッと音がするまで増設メモリキットを倒します。
本体装置のコネクタの両端にある金具で固定されたことを確認してください。

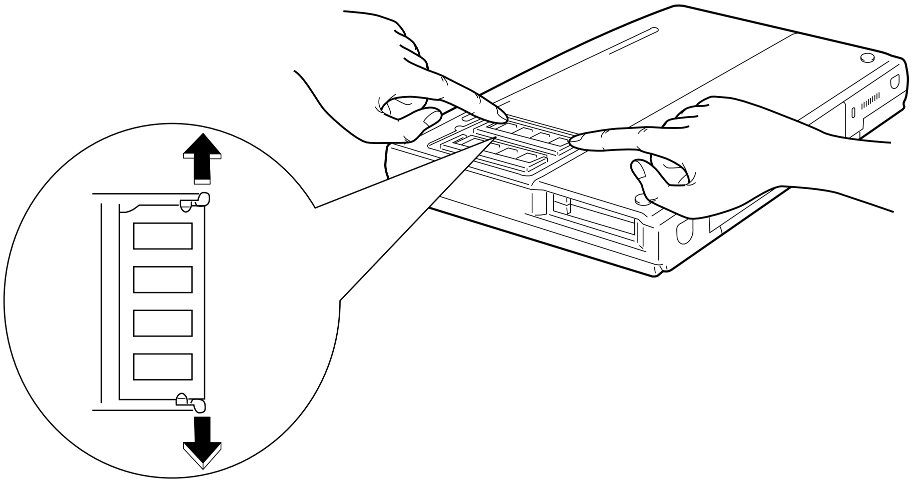


7 増設メモリカバーを元の位置に戻し、ネジで固定します。

■取り外し手順

1 取り付け手順の ***1***〜***4*** を行います。

2 本体装置のコネクタの両端にある金具を同時に外側へ広げ、増設メモリキットを起こします。



3 コネクタから増設メモリキットを抜き取ります。

・増設メモリの取り付け／取り外しを行った後は、本体装置を起動したときに、メモリ容量がチェックされ、メモリサイズが自動的に更新されます。

・増設メモリキットの取り付け／取り外しを行った後は、セットアップ・ユーティリティを起動し、Advanced System Configuration（2/2）画面の［Extended Memory］で、メモリ容量が正しい値になっていることを確認してください。

メモリ容量	16MB	24MB	32MB	40MB	48MB
セットアップ・ユーティリティの表示	15360KB	23552KB	31744KB	39936KB	48128KB

セットアップ・ユーティリティについては、応用編３-２節を参照してください。

・取り外すときは、必ず本体装置の電源を切り、ACアダプタと内蔵バッテリを取り外してから行ってください。

3. セットアップ

3-1 セットアップ・ユーティリティとは

セットアップ・ユーティリティは、システム設定を行うユーティリティで、本体装置内の特別なメモリに格納されています。
主に次のような処理をするときに使用します。

・パワーマネージメント機能の設定を変更するとき
・セキュリティの設定を変更するとき
・オプション機器をつないでシステム拡張したとき

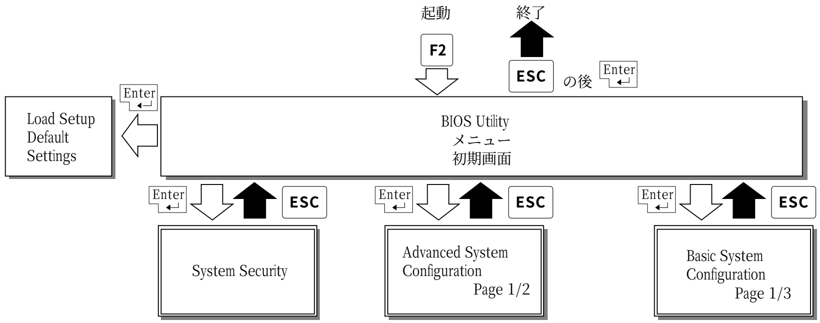
また、何らかの要因によりシステム設定の内容が不正のときは、本体装置の電源を入れたときに以下のメッセージが表示され、入力待ちになります。

```
Press <F1> to resume <F2> to Setup
```

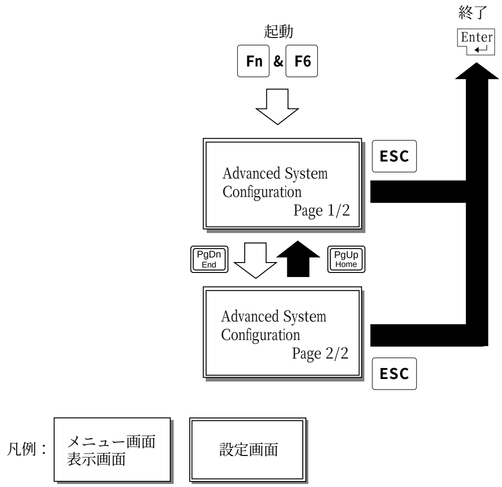
この場合も、セットアップ・ユーティリティを使用してシステム設定し直す必要があります。入力待ちの状態で F2 キーを押すとセットアップ・ユーティリティが起動します。

■セットアップ・ユーティリティの画面の流れ

●システム起動時に [F2] を押した場合



●セットアップのホットキー（[Fn] & [F6]）を押した場合



■セットアップ・ユーティリティの画面構成

- **BIOS Utility メニュー**

  セットアップ・ユーティリティ起動時に最初に表示される画面

  - **Basic System Configuration**

    日付、時刻などを設定します。

  - **Advanced System Configuration（1/2）**

    パワーマネジメント機能などの設定を行います。

    - **Advanced System Configuration（2/2）**

      システムの情報を表示します。

  - **System Security**

    セキュリティ機能やプリンタ、RS-232C機器などの設定を行います。

  - **Load Default Settings**

    セットアップ・ユーティリティで設定できる値を、すべて既定値に変更します。

凡例：
- メニュー画面、表示画面（一重枠）
- 設定画面（二重枠）

3-2 セットアップ・ユーティリティの起動と終了

セットアップ・ユーティリティの起動方法には、次の2つの方法があります。

・システム起動時に [F2] を押す方法
　通常はこの方法で起動します。設定保存後、本体装置が再起動します。

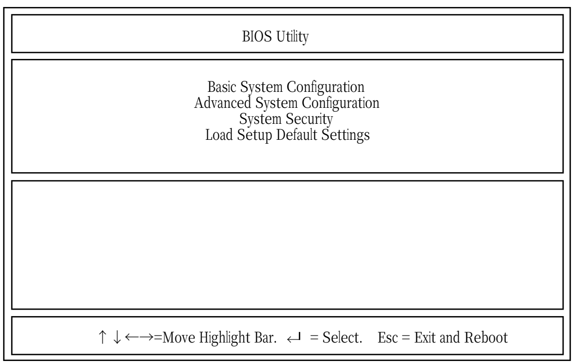
・セットアップのホットキー [Fn] ＆ [F6] を押す方法
　Advanced System Configuration画面だけを表示します。パワーセーブモードの設定を変えるときに使用すると便利です。
　セットアップ終了後、本体装置はセットアップ・ユーティリティ起動直前の状態に戻ります。

■システム起動時に [F2] を押す方法

●起動方法

1 本体装置を起動します。メッセージが次々に出てきます。

2 画面下部に「Press <F2> to Setup」とメッセージが出てきたら [F2] を押します。セットアップ・ユーティリティが起動し、セットアップの初期画面（BIOS Utility 画面）が表示されます。



●終了方法

1 設定画面の場合 [Esc] を押します。初期画面に戻ります。

2 初期画面で [Esc] を押します。以下の画面が表示されます。

```
Do you want to save CMOS data?
      [Yes]        [No]
```

3 [Yes] または [No] を選択して [Enter] キーを押すと、セットアップ・ユーティリティが終了し、本体装置が再起動します。
[Yes] を選択すると、設定した値に更新されます。
[No]を選択すると、設定した値は無効となり、元の値のままになります。

■セットアップのホットキーを押す方法

●起動方法

1 セットアップのホットキー（ Fn ＆ F6 ）を押します。セットアップ・ユーティリティが起動し、以下の画面が表示されます。

```
Advanced System Configuration                          Page 1/2

Power Management Mode ------------ [Disabled]
    Display Standby Timer ----------- [Off]
    Hard Disk Standby Timer ---------- [Off]
    System Standby / Suspend Timer ---- [Off]

Display Device -------------------- [Auto]

Battery-low Warning Beep ------------ [Enabled]
Suspend Upon Battery-low ----------- [Enabled]

Modem Ring Wake Up From Standby ----- [Enabled]

Password Check during Resume -------- [Disabled]

↑↓=Move Highlight Bar. →← = Change Setting
PgDn/PgUp = Move Screen,  F1 = Help, Esc = Exit
```

PgUp Home ／ PgDn End で画面を切り換えます。

●終了方法

1 Esc を押します。次の画面が表示されます。

```
Do you want to save CMOS data?
      [Yes]          [No]
```

2 [Yes] または [No] を選択して [Enter] キーを押すと、セットアップ・ユーティリティの起動前の画面に戻ります。
[Yes] を選択すると、設定した値に更新されます。
[No]を選択すると、設定した値は無効となり、元の値のままになります。

3-3 基本操作と出荷時の設定

■各画面での基本操作

●初期画面での操作

・[▲] または [▼] で画面名を選び（選んだ画面名は反転表示になります）、[Enter] を押します。

［Load Setup Default Settings］を選んだ場合は、次の画面が表示されます。

```
Load Setup Default Settings
Are you sure?
    [Yes]          [No]
```

[Yes] を選択して [Enter] キーを押すと、全項目の値が既定値になります。
[No] を選択して [Enter] キーを押すと、項目の値は変更されません。

> 既定値とは、セットアップ・ユーティリティの設定誤りなど、何らかのトラブルで本機が起動できなくなったときに使用する値です。詳しくは次ページ以降の「出荷時の設定」と、「出荷時の設定と既定値の違い」を参照してください。

●設定画面での操作

項目を選び、値を変えます。

・項目を選ぶ ……………………… [▲] で1つ前のパラメータに、[▼] で1つ後のパラメータに移ります。選んだパラメータは反転表示になります。

・項目の値を変える ……………… [◀] で値を1つ前の選択候補に、[▶] で値を1つ後の選択候補にします。

・ページを切り換える …………… [PgDn End] で次のページに切り換わります。
[PgUp Home] で前のページに切り換わります。

うすく表示された項目の値は変えられません。この項目にはシステムにより自動的に正しい値が設定されます。

■出荷時の設定

以下に出荷時の設定を示します。

● Basic System Configuration 画面

```
Basic System Configuration                                   Page 1/1

Date   ------------------------------ [ MM/DD/YY]
Time   ------------------------------ [HH:MM:SS]
Diskette Drive A -----------------------1.44 MB   3.5-inch]
Diskette Drive B ---------------------- [        None        ]

                                                  Cylinder  Head  Sector
IDE Drive 0 (1378 MB) ----------------- [Auto]      2800     16     63

Enhanced IDE Features
     Large Hard Disk Capacity  ------------ [Enabled]

Num Lock After Boot  ------------------- [Disabled]
Memory Test  ------------------------- [Enabled]

↑ ↓=Move Highlight Bar.  →← = Change Setting,   F1 = Help, Esc = Exit
```

● Advanced System Configuration画面

```
Advanced System Configuration                                Page 1/2

Power Management Mode   ------------ [Disabled]
     Display Standby Timer   ----------- [Off]
     Hard Disk Standby Timer  ---------- [Off]
     System Standby / Suspend Timer  ---- [Off]

Display Device   -------------------- [Auto]

Battery-low Warning Beep   ------------ [Enabled]
Suspend Upon Battery-low    ----------- [Enabled]

Modem Ring Wake Up From Standby  ----- [Enabled]

Password Check during Resume   -------- [Disabled]

↑ ↓=Move Highlight Bar.  →←  = Change Setting
PgDn/PgUp = Move Screen,   F1 = Help, Esc = Exit
```

```
Advanced System Configuration                    Page 2/2

                 System Information

CPU/CLK          :  Pentium/133MHZ   Internal Cache     :  16KB,Enabled
Base Memory      :     640 KB        External Cache     :  None
Extended Memory  :  15360 KB          Pointing device   :  Detected
Shadow RAM       :     256 KB         Internal KB       :  88Key
SMRAM            :     128 KB
IDE Drive 0      :  1378 MB
  Security       :  Normal
Diskette Drive A :  1.44MB 3.5-inch
  Security       :  Normal
Boot Device      :  Drive A Then C
Serial Port      :  3F8h,IRQ 4
Parallel Port    :  3BCh,IRQ 7
  Operation Mode :   Standard Parallel Port (SPP)

PgDn/PgUp = Move Screen,   Esc = Exit
```

この画面は、現在の設定値を確認したいとき、表示させます。セットアップのホットキー（ Fn ＆ F6 ）を押した場合のみ表示されます。

● System Security画面

```
System Security                                  Page 1/1

Disk Drive Control
    Diskette Drive  --------------------- [    Normal    ]
    Hard Disk Drive  -------------------- [    Normal    ]
    System Boot Drive  ------------------ [ Drive A Then C ]
    Boot from CD-ROM  ------------------- [   Disabled   ]

On Board Communication Ports
    Serial Port 1Base Address  ---------- [    3F8h    ]

    Paralell Port Base Address  --------- [   3BCh(IRQ 7)   ]
        Operational Mode  --------------- [Standard Parallel Port (SPP) ] Mode

Setup Password-------------------------- [ None ]
Power On Password  --------------------- [ None ]

↑↓=Move Highlight Bar,  →← = Change Setting,   F1 = Help,   Esc = Exit
```

応用編

3

セットアップ

■出荷時の設定と既定値の違い

［Load Setup Default Settings］の既定値は以下の箇所のみ出荷時の設定と異なります。

画面項目	既定値	出荷時の設定
Advanced System Configuration画面		
Power Management Mode	Enabled	Disabled
Display Standby Timer	1	Off
Hard Disk Standby Timer	1	Off
System Standby/Suspend Timer	3	Off
System Security 画面		
Parallel Port Base Address	378h（IRQ7）	3BCh（IRQ7）

3-4 パワーマネージメント機能の設定

本体装置の中で特に電力を消費する、液晶ディスプレイ、ハードディスク、CPUを、パワーマネージメント機能できめ細かく省電力することで、バッテリでの動作時間をのばすことができます。

■パワーマネージメント機能とは

パワーマネージメント機能とは、各種周辺機器が一定時間使用されないと、自動的にパワーセーブモード（電力消費の少ないモード）に切り替わる機能です。パワーセーブモードには、４種類あります。どのモードを有効にするかは、セットアップ・ユーティリティで設定します。

なお、出荷時の設定は、パワーマネージメント機能を使用しない“ Disabled ”になっています。

Windowsでパワーマネージメント機能の設定をしているときは、Windowsでの設定が優先されます。

応用編 3

セットアップ

■パワーセーブモードの種類

モード名	モードの状態	モードに切り換わる条件	復帰操作
ディスプレイスタンバイモード	液晶ディスプレイと外部カラーディスプレイ装置の表示が消えます。	指定した時間、キーボードやタブレットポインタ、マウスを使用しない場合。	キーボードのキーを押したり、タブレットポインタまたはマウスを動かします。
ハードディスクスタンバイモード	ハードディスクに供給される電源が、最小限に下がります。	指定した時間、ハードディスクに、読み書きのアクセスをしない場合。	ハードディスクにアクセスします。
システムスタンバイモード	データがメモリ上に保存され、以下の状態になります。 ・CPUのスピードが下がる ・ディスプレイの表示が消える ・シリアルポート、パラレルポート、タブレットポインタ、マウスが使用できなくなる ・ハードディスク、VGAとI/Oコントローラの消費電力が減る	サスペンド用領域がメモリ容量より少ないときに、以下の状態になった場合。 ・スタンバイ／サスペンドのホットキー（Fn & F7）を押したとき ・セットアップ・ユーティリティで指定した時間（注1）、システムを動作させないとき ・バッテリ警告状態のとき（注2）	キーボードのキーを押します。（注3）
サスペンドモード	現在の動作状態がサスペンド用領域に保存され、本体装置の電源が切れます。	サスペンド用領域がメモリ容量より多いときに、以下の状態になった場合。 ・スタンバイ／サスペンドのホットキー（Fn & F7）を押したとき ・セットアップ・ユーティリティで指定した時間（注1）、システムを動作させないとき ・バッテリ警告状態のとき（注2）	電源スイッチを押します。

（注1）［System Standby/Suspend Timer］で指定した時間です。
（注2）［Suspend Upon Battery-low］の設定が "Enabled" のときのみです。
（注3）タブレットポインタやマウスを動かしても復帰しません。

サスペンド用領域とは、サスペンドモードのために確保されたハードディスクの領域です。サスペンドモードを使用しない場合は、サスペンド用領域を削除し、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。詳しくは『ソフトウェアガイド』を参照してください。

■パワーマネージメント機能の設定

パワーマネージメント機能はAdvanced System Configuration画面（Page1/2）で設定します。

> 本機でネットワークを使用する場合､システムスタンバイモードやサスペンドモードから復帰した後ではネットワークは正常に動作しません。ネットワークを使用する場合、パワーマネージメント機能を有効にしたり、また内蔵バッテリでの動作を行わないでください。

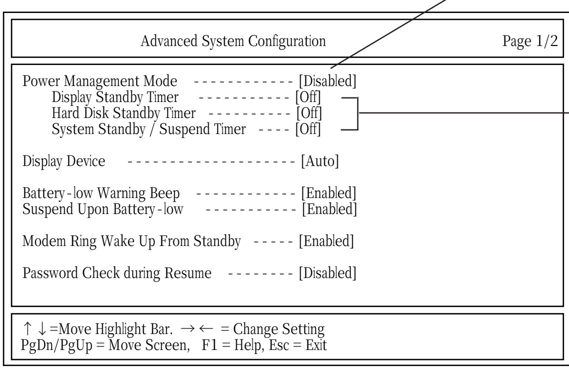
1 [▲] または [▼] を押して［Power Management Mode］の値を反転表示させ､[►] または [◄] を押して、値を修正します。
パワーマネージメント機能を有効にするときは "Enabled" にします。

2 パワーセーブモードに自動的に移行するまでの時間は､次の項目で設定します。

パワーセーブモード	項目
ディスプレイスタンバイモード	Display Standby Timer
ハードディスクスタンバイモード	Hard Disk Standby Timer
システムスタンバイモード	System Standby/Suspend Timer
サスペンドモード	System Standby/Suspend Timer

[▲] または [▼] を押して値を修正するパラメータを反転表示させ､[►] または [◄] を押して値を修正します。

ここの値を修正します。



パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。

応用編 3 セットアップ

3 バッテリ警告発生時に自動的にサスペンドモードへ移行するかどうか設定します。
[▲] または [▼] を押して［Suspend Upon Battery-low］の値を反転表示させ、[►] または [◄] を押して値を修正します。サスペンスモードへ移行させたいときは "Enabled" にします。

```
Advanced System Configuration                                Page 1/2

Power Management Mode       ------------ [Disabled]
     Display Standby Timer      ----------- [Off]
     Hard Disk Standby Timer   ---------- [Off]
     System Standby / Suspend Timer ---- [Off]

Display Device      -------------------- [Auto]

Battery-low Warning Beep    ------------ [Enabled]
Suspend Upon Battery-low     ----------- [Enabled]

Modem Ring Wake Up From Standby  ----- [Enabled]

Password Check during Resume   -------- [Disabled]

↑ ↓=Move Highlight Bar.  →← = Change Setting
PgDn/PgUp = Move Screen,   F1 = Help, Esc = Exit
```

ここの値を修正します。

4 PCカードのモデムからのリング信号で、システムスタンバイモードから復帰するかどうかを設定します。[▲] または [▼] を押して［Modem Ring Wake Up From Standby］の値を反転させ、[►] または [◄] を押して値を修正します。システムスタンバイモードへ復帰させたいときは "Enabled" にします。

```
Advanced System Configuration                                Page 1/2

Power Management Mode       ------------ [Disabled]
     Display Standby Timer      ----------- [Off]
     Hard Disk Standby Timer   ---------- [Off]
     System Standby / Suspend Timer ---- [Off]

Display Device      -------------------- [Auto]

Battery-low Warning Beep    ------------ [Enabled]
Suspend Upon Battery-low     ----------- [Enabled]

Modem Ring Wake Up From Standby  ----- [Enabled]

Password Check during Resume   -------- [Disabled]

↑ ↓=Move Highlight Bar.  →← = Change Setting
PgDn/PgUp = Move Screen,   F1 = Help, Esc = Exit
```

ここの値を修正します。

パワーマネージメントの設定に使う項目と、値の選択候補（____は出荷時の設定）、意味は以下のとおりです。

項目名	値の選択候補	意味
Power Management Mode	Disabled	パワーマネージメント機能を働かせない。スタンバイ／サスペンドのホットキーも働きません。
	Enabled	パワーマネージメント機能を働かせる。
Display Standby Timer	Off	ディスプレイスタンバイモードに移行しない。
	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15	指定した時間何も操作しないと、ディスプレイスタンバイモードへ移行する。（単位：分）
Hard Disk Standby Timer	Off	ハードディスクスタンバイモードへ移行しない。
	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15	指定した時間ハードディスクにアクセスがないと、ハードディスクスタンバイモードへ移行する。（単位：分）
System Standby/Suspend Timer	Off	システムスタンバイモードまたはサスペンドモードへ移行しない。
	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15	指定した時間何も操作しないと、システムスタンバイモードまたはサスペンドモードへ移行する。（単位：分）
Suspend Upon Battery-low	Disabled	バッテリ警告状態のとき、自動的にシステムスタンバイモードまたはサスペンドモードへ移行しない。
	Enabled	バッテリ警告状態のとき、自動的にシステムスタンバイモードまたはサスペンドモードへ移行する。

3-5 セキュリティ機能の設定

セキュリティとして、ディスク装置へのアクセス制限とパスワードが設定できます。
セキュリティはSystem Security 画面で設定します。

■フロッピーディスク装置へのアクセス制限

設定内容	設定値
使用可能にする	Normal
すべてのセクタの書込みを禁止する（DOS 環境のみ有効）	Write Protect All Sectors
ブートセクタの書込みを禁止する（DOS 環境のみ有効）	Write Protect Boot Sector
アクセス（読み／書き）を禁止する	Disabled

（____は出荷時の設定）

1 [▲] または [▼] を押して［Diskette Drive］の値を反転表示させ、[▶] または [◀] を押して値を修正します。

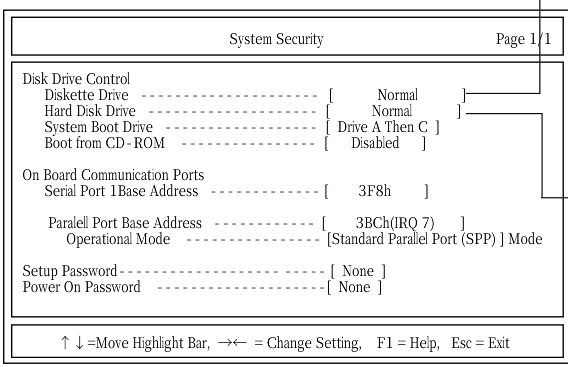
応用編 3 セットアップ

■ハードディスクへのアクセス制限

設定内容	設定値
使用可能にする	Normal
すべてのセクタの書込みを禁止する（DOS 環境のみ有効）	Write Protect All Sectors
ブートセクタの書込みを禁止する（DOS 環境のみ有効）	Write Protect Boot Sector
アクセス（読み／書き）を禁止する	Disabled

（＿＿は出荷時の設定）

1 [▲] または [▼] を押して［Hard Disk Drive］の値を反転表示させ、[▶] または [◀] を押して値を修正します。



フロッピーディスク装置へのアクセス制限はここの値を修正します。

ハードディスクへのアクセス制限は、ここの値を修正します。

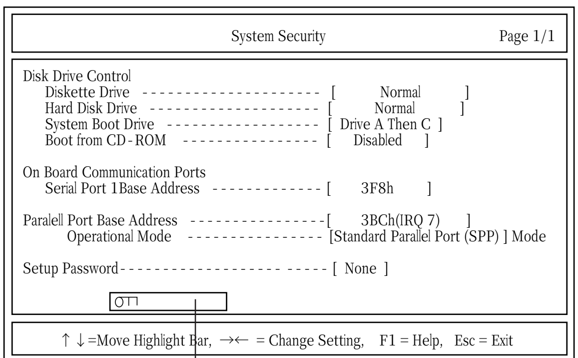
応用編 3 セットアップ

■パスワード

パスワードには、セットアップパスワードとパワーオンパスワードがあります。

- セットアップパスワードは、セットアップ・ユーティリティの使用を特定のユーザーに制限する機能です。セットアップパスワードが設定されていると、セットアップ・ユーティリティの起動時にパスワードの入力が必要になります。
- パワーオンパスワードは、本体装置の使用を特定のユーザーに制限する機能です。パワーオンパスワードが設定されていると、本体装置の電源を入れたときやサスペンドモードからの復帰時にパスワードの入力が必要になります。

1 [▲]または[▼]を押して［Setup Password］または［Power On Password］の値を反転表示させ、[▶]または[◀]を押してパスワードプロンプトを表示させます。



パスワードプロンプト

> パスワードを設定しないときは、［Setup Password］または［Power On Password］の値を "None" にします。

2 パスワードを入力します (英数字7文字以内)。入力した文字は表示されないので正確に入力してください。

3 [Enter]を押すと、確認のため再度パスワードプロンプトが表示されます。
もう一度同じパスワードを入力してください。
パスワードが正しく設定されると［Setup Password］または［Power On Password］の値が "Present" になります。

4 ［Power On Password］の設定をした場合、サスペンドモードからノーマルモードへ復帰するときに、パワーオンパスワードを入力するかどうかを指定します。
Advanced System Configuration画面（Page1/2）で[▲]または[▼]を押して［Password Check during Resume］の値を反転表示させ、[▶]または[◀]を押して値を修正します。

```
Advanced System Configuration                                Page 1/2

Power Management Mode   ------------ [Disabled]
    Display Standby Timer   ----------- [Off]
    Hard Disk Standby Timer   ---------- [Off]
    System Standby / Suspend Timer   ---- [Off]

Display Device   -------------------- [Auto]

Battery-low Warning Beep   ------------ [Enabled]
Suspend Upon Battery-low   ----------- [Enabled]

Modem Ring Wake Up From Standby   ----- [Enabled]

Password Check during Resume   -------- [Disabled]

↑↓=Move Highlight Bar.  →← = Change Setting
PgDn/PgUp = Move Screen,  F1 = Help, Esc = Exit
```

ここの値を修正します。

●パスワードを設定すると、次からの本体装置またはセットアップ・ユーティリティの起動時にはパスワードプロンプトが表示されます。
ここで不正なパスワードを入力すると "X" が表示されます。再入力は3回まで可能です。
3回目の再入力でも不正なパスワードを入力すると以下のメッセージが表示され、システムは停止します。この場合は本体装置の電源をいったん切り、再度電源を入れると再試行できます。

```
Incorrect password specified. System disabled.
```

●パスワードを忘れてしまった場合は、システム構成をリセット (すべての設定を消去し、初期値に再設定) する必要があります。お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口へお問い合わせください。

●パワーオンパスワードの消去/変更は、本体装置の起動時にも行うことができます。

・パワーオンパスワードの消去：パスワードを入力するところで正しいパスワードの後に"/"を加えて入力します。

・パワーオンパスワードの変更：パスワードを入力するところで正しいパスワードの後に"/新パスワード"を加えて入力します。

例：パワーオンパスワードWXYZを消去、またはABCDに変更する場合

消去　WXYZ/

変更　WXYZ/ABCD

3-6 オプション機器についての設定

オプション機器をつないでシステム拡張したときは、セットアップの設定が必要です。

■ RS-232C機器

シリアルポートに、モデムやその他のシリアルデバイスが接続できます。
シリアルポートのポートアドレスは、System Security 画面の［Serial Port1 Base Address］で行います。
使用しないときは、消費電力を押さえるために "Disabled" に設定してください。

- <u>3F8h</u>
- 3E8h
- 2F8h
- 2E8h
- Disabled　　　　　　　　（____は出荷時の設定）

1 [▲] または [▼] を押して［Serial Port 1 Base Address］の値を反転表示させ、[▶] または [◀] を押して値を修正します。

```
                          System Security                      Page 1/1

Disk Drive Control
    Diskette Drive  ---------------------  [       Normal       ]
    Hard Disk Drive  --------------------  [       Normal       ]
    System Boot Drive  ------------------  [ Drive A Then C ]
    Boot from CD-ROM  ----------------  [    Disabled    ]

On Board Communication Ports
    Serial Port 1Base Address  -------------  [     3F8h     ]

     Paralell Port Base Address  ------------  [     3BCh(IRQ 7)     ]
        Operational Mode  ----------------  [Standard Parallel Port (SPP) ] Mode

Setup Password---------------------- -----  [ None ]
Power On Password  ---------------------[ None ]

     ↑ ↓=Move Highlight Bar,  →←  = Change Setting,   F1 = Help,   Esc = Exit
```

ここの値を設定します。

■プリンタ

パラレルポートのアドレスは、System Security 画面の［Parallel Port Base Address］で行います。
使用しないときは、消費電力を抑えるために "Disabled" に設定してください。

- 3BCh（IRQ 7）
- 378h（IRQ 7）
- 278h（IRQ 5）
- Disabled　　　　（____は出荷時の設定）

次のモードが［Operation Mode］で設定できます。

- Standard Parallel Port（SPP）
- Standard and Bidirectional
- Enhanced Parallel Port（EPP）
- Extended Capabilities Port（ECP）　　（____は出荷時の設定）

1 [▲] または [▼] を押して［Parallel Port Base Address］または［Operation Mode］の値を反転させ、[▶] または [◀] を押して値を修正します。

```
                         System Security                      Page 1/1

Disk Drive Control
    Diskette Drive  ---------------------- [      Normal      ]
    Hard Disk Drive  --------------------- [      Normal      ]
    System Boot Drive  ------------------- [ Drive A Then C ]
    Boot from CD-ROM  ------------------- [    Disabled    ]

On Board Communication Ports
    Serial Port 1Base Address  ----------- [      3F8h      ]

     Paralell Port Base Address  ---------- [     3BCh(IRQ 7)    ]
       Operational Mode  ----------------- [Standard Parallel Port (SPP) ] Mode

Setup Password------------------------ [ None ]
Power On Password  ------------------- [ None ]

    ↑↓=Move Highlight Bar,  →← = Change Setting,   F1 = Help,   Esc = Exit
```

アドレスはここの値を修正します。

モードの変更はここの値を修正します。

3-7 その他の設定

以下に、セットアップユーティリティで設定できるその他の項目について、値の選択候補と意味を示します。

● Basic System Configuration 画面

設定内容	項目名	値の選択候補	意味
日付	Date	月／日／年	現在の日付（西暦表示）
時刻	Time	時：分：秒	現在の時刻（24時間表示）
フロッピーディスク装置	Diskette Drive A	1.44 MB 3.5-inch	本機ではフロッピーディスク装置は１台しか対応しないので、設定は不要。
ハードディスクのタイプ	IDE Drive 0	Auto（注１）	ハードディスクタイプ番号。工場出荷時には正しく設定されているので、設定は不要。
エンハンスドIDE	Large Hard Disk Capacity	Disabled	528MB以上のハードディスクを使用しない。
		Enabled	528MB以上のハードディスクを使用する。
起動時のNum LockのON/OFF	Num Lock After Boot	Disabled	起動時にキーボードがNum Lock状態にならない。
		Enabled	起動時にキーボードがNum Lock状態になる。
メモリのテストの実施	Memory Test	Disabled	メモリテストを省略する。自己診断手順のスピードアップが図れる。
		Enabled	メモリテストを実施する。

（＿は出荷時の値）

（注１）本機ではAutoに設定しており、セットアップユーティリティがハードディスクから情報を読み出して、装置タイプを自動設定しています。

● Advanced System Configuration画面（Page 1/2）

設定内容	項目名	値の選択候補	意味
ディスプレイ装置	Display Device	Auto	外部カラーディスプレイ装置が接続されている場合、外部カラーディスプレイ装置のみに表示する。接続されていなければ、液晶ディスプレイに表示する。
		Both	液晶ディスプレイと外部カラーディスプレイ装置の両方に表示する。
バッテリ警告状態での警告音	Battery-low Warning Beep	Disabled	バッテリ警告状態で警告音が鳴らない。
		Enabled	バッテリ警告状態で警告音が鳴る

（__は出荷時の値）

応用編 3

セットアップ

● Advanced System Configuration画面 (Page 2/2)
この画面は設定された値を表示する画面です。この画面での設定はできません。以下に、ここで表示されている項目の値が、どの画面で設定できるのかを示します。

表示項目名	設定画面名	設定項目名
CPU/CLK	自動設定	―
Base Memory	自動設定	―
Extended Memory	自動設定	―
Shadow RAM	自動設定	―
SMRAM	自動設定	―
IDE Drive 0	Basic System Configuration	IDE Drive 0
Security	System Security	Hard Disk Drive
Diskette Drive A	Basic System Configuration	Diskette Drive A
Security	System Security	Diskette Drive
Boot Device	System Security	System Boot Drive
Serial Port	System Security	Serial Port 1 Base Address
Pararell Port	System Security	Parallel Port Base Address
Operation Mode	System Security	Operation Mode
Internal Cache	自動設定	―
External Cache	自動設定	―
Pointing device	自動設定	―
Internal KB	自動設定	―

● System Security 画面

設定内容	項目名	値の選択	意味
システム起動ドライブ	System Boot Drive	Drive A Then C	ドライブA（フロッピーディスク装置）からシステムを起動する。ドライブAにオペレーティングシステムの入ったフロッピーディスクがセットされていない場合、ドライブC（ハードディスク）からシステムを起動する。
		Drive A	ドライブAからシステムを起動する。ドライブAにオペレーティングシステムの入ったフロッピーディスクがセットされていない場合、エラーメッセージが表示される。
		Drive C	ドライブCからシステムを起動する。ドライブCにオペレーティングシステムが入っていない場合、エラーメッセージが表示される。
		Drive C Then A	ドライブCからシステムを起動する。ドライブCにオペレーティングシステムが入っていない場合、ドライブAからシステムを起動する。
	Boot from CD-ROM	Enabled	サポートしていないので、設定変更は不要
		Disabled	

4. 故障かな？と思ったら

4-1 故障かな？と思ったら

本体装置を使用しているとき､問題が発生したときの対処方法について説明します。問題が発生したとき、お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口に連絡する前にこの章をよく読んでください。

⚠警告

煙が発生する、変な音がするなどの異常が発生した場合は、まず電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口に修理依頼をしてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■本体装置の問題

現　象	確認すること	対処方法
本体装置の電源が入らない	内蔵バッテリで動作させていますか？その場合、内蔵バッテリは充電されていますか？	使いきった状態または放電しきった状態の内蔵バッテリでは電源は入りません。充電された予備の内蔵バッテリと交換するか、本体装置にACアダプタを正しく接続してください。
	ACアダプタは正しく接続されていますか？	ACアダプタのプラグを正しく接続してください。
すべてのパワーマネージメント機能が働かない。	セットアップ・ユーティリティのパワーマネージメント機能の設定が有効になっていますか？	応用編３- ４節を参照し、Power Management ModeをEnabledに設定してください。
	セットアップ・ユーティリティリティの起動中ですか？	セットアップ・ユーティリティ起動中は、一時的にパワーマネージメント機能は無効になります。
セットアップのホットキー､スタンバイ/サスペンドのホットキーを押してもその機能が働かない。	何か動作中の装置がありませんか？	すべての装置の動作が終了するまで待ってください。
スタンバイ／サスペンドのホットキーを押してもその機能が働かない。	セットアップ・ユーティリティのパワーマネージメント機能の設定が有効になっていますか？	応用編３- ４節を参照し、Power Management ModeをEnabledに設定してください。

■フロッピーディスク装置の問題

現　象	確認すること	対処方法
フロッピーディスク装置が動作しない	セットアップ・ユーティリティでセキュリティの設定をしていますか？	応用編3-5節を参照し、Diskette Driveの値をNormalに設定してください。
	フロッピーディスク装置に、正しくフロッピーディスクが入っていますか？	フロッピーディスクをいったん取り出し、再度正しく挿入してください。
	フロッピーディスクはフォーマットされていますか？	正しくフォーマットしてください。
	1.2MBでフォーマットされたフロッピーディスクを使用していますか？	1.2MBのフロッピーディスクを使用するときは、『ソフトウェアガイド』を参照してください。

■ハードディスクの問題

現　象	確認すること	対処方法
本体装置がハードディスクから起動しない	セットアップ・ユーティリティのハードディスクの設定は正しいですか？	応用編3-7節を参照し、IDE Drive 0をAutoに設定してください。
	セットアップ・ユーティリティでセキュリティの設定をしていますか？	応用編3-5節を参照し、Hard Disk DriveをNormalに設定してください。
	セットアップユーティリティのシステム起動ドライブの設定は正しいですか？	応用編3-7節を参照し、System Boot DriveをDrive A以外に設定してください。
	オペレーティングシステムのシステムファイルが壊れていませんか？または間違っていませんか？	フロッピーディスク装置に、オペレーティングシステムの入っているフロッピーディスクを挿入し、起動してみてください。

■内蔵バッテリの問題

<table>
<tr><th>現　象</th><th>確認すること</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">内蔵バッテリが充電できない、または内蔵バッテリでの動作時間が極端に短い</td><td>充電のしかたは正しいですか？</td><td>基本編 4-4節を参照し、正しく充電してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">以下の操作を数回行ってください。
①本体装置の電源を切った状態で、本体装置にACアダプタを接続し AC ケーブルの電源プラグをコンセントにさして、1時間程度放置します (充電)。
② 基本編 4-3節を参照し、内蔵バッテリを放電します (放電)。</td></tr>
</table>

■液晶ディスプレイの問題

<table>
<tr><th>現　象</th><th>確認すること</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">液晶ディスプレイに何も表示されない</td><td>液晶ディスプレイのコントラストは正しいですか？（液晶ディスプレイが DSTN のモデルのみ）</td><td>コントラスト／輝度のホットキー（[Fn] & [F2]）で、コントラストを見やすく調節してください。</td></tr>
<tr><td>本体装置がパワーセーブモードに移行していませんか？</td><td>キーを何か押してみてください。</td></tr>
<tr><td>表示するディスプレイ装置を切り換えていませんか？</td><td>ディスプレイのホットキー（[Fn] & [F3]）で、表示するディスプレイ装置を切り換えてください。</td></tr>
</table>

■キーボードの問題

現　象	確認すること	対処方法
キーボードが反応しない	本体装置がパワーセーブモードに移行していないか確認してください。	パワーセーブモードから復帰させてください。

■増設メモリキットの問題

現　象	確認すること	対処方法
増設メモリキットを取り付けた後、本体装置が動作しない	増設メモリキットは本機用のものですか？	『ハードウェア仕様』に掲載されている増設メモリキットをご使用ください。
	増設メモリキットは正しく取り付けられていますか？	応用編２章を参照し、正しく取り付けてください。
32MB 増設メモリキットが取り付けられない	スロット１に取り付けようとしていませんか？	応用編２章を参照し、スロット２に正しく取り付けてください。

■外部キーボード／テンキーパッド／マウスの問題

現　象	確認すること	対処方法
外部キーボード、テンキーパッド、マウスが反応しない	各装置のケーブルは、本体装置のコネクタとしっかり接続されていますか？	しっかり接続してください
	本体装置がパワーセーブモードに移行していないことを確認してください。	パワーセーブモードから復帰させてください。

■プリンタの問題

現　象	確認すること	対処方法
パラレルプリンタで印刷できない	プリンタのケーブルは、本体装置のコネクタとしっかり接続されていますか？	しっかり接続してください
	セットアップ・ユーティリティでパラレルポートの設定が有効になっていますか？	応用編３-６節を参照し、Parallel Port Base Addressの値を正しく設定してください。
	プリンタドライバは、接続されているプリンタ用のものですか？	接続されているプリンタ用のプリンタドライバをお使いください。
	プリンタの電源を入れてから、本体装置の電源を入れていますか？	応用編１-２節を参照し、正しくプリンタを接続し、電源を入れてください。

■ RS-232C機器の問題

現　象	確認すること	対処方法
RS-232C機器が動作しない	RS-232Cのケーブルは、本体装置のコネクタとしっかり接続されていますか?	しっかり接続してください
	セットアップ・ユーティリティでシリアルポートの設定が有効になっていますか?	応用編3-6節を参照し、Serial Port 1 Base Addressの値を正しく設定してください。
	RS-232C機器を使用するためのソフトウェアは正しく組み込まれていますか?	使用しているソフトウェアを正しく組み込んでください。
	使用しているPCカードがシリアルポートの設定と衝突していないか確認してください。	PCカードを動作させる割込み番号およびI/Oポート番号を変えてください。
	RS-232C機器の電源を入れてから本体装置の電源を入れていますか? (RS-232C機器に電源がある場合)	応用編1-4節を参照し、正しくRS-232C機器を接続してください。

■ PCカードの問題

現　象	確認すること	対処方法
PCカードが正しく動作しない	PCカードは、本体装置に正しく取り付けられていますか?	応用編1-1節を参照し、正しく取り付けてください。
	PCカードにケーブルは正しく取り付けられていますか? (通信系のPCカードのみ)	正しく取り付けてください。
	PCカードを使用するための必要なソフトウェアは、正しく組み込まれていますか?	『ソフトウェアガイド』、PCカードの取扱説明書を参照し正しくインストールしてください。
	セットアップ・ユーティリティで、システムスタンバイモードまたはサスペンドモードに移行する設定にしていませんか? (通信系のPCカードのみ)	応用編3-4節を参照し、移行しないように設定してください。
	本体装置を動作中に、PCカードを挿抜していませんか?	応用編1-1節と『ソフトウェアガイド』を参照し、正しく取り付け、取り外しをしてください。

■外部ディスプレイ装置の問題

<table>
<tr><th>現　象</th><th>確認すること</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="5">外部ディスプレイ装置に何も表示されない</td><td>外部ディスプレイ装置の電源は入っていますか？</td><td>電源を入れてください</td></tr>
<tr><td>外部ディスプレイ装置の輝度とコントラストは正しく調整されていますか？</td><td>ディスプレイ装置の説明書を参照し、見やすく調整してください。</td></tr>
<tr><td>外部ディスプレイ装置のケーブルは、本体装置のコネクタとしっかり接続されていますか？</td><td>しっかり接続してください</td></tr>
<tr><td>表示するディスプレイ装置を切り換えていませんか？</td><td>ディスプレイのホットキー（ [Fn] ＆ [F3] ）で表示するディスプレイ装置を切り換えてください。</td></tr>
<tr><td>キーを入力したりして本体装置がパワーセーブモードに移行していないか確認してください。</td><td>パワーセーブモードから復帰させてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高解像度表示できない</td><td colspan="2">高解像度表示はWindows環境のみ可能です。</td></tr>
<tr><td>高解像度表示用のドライバが正しく組み込まれていますか？</td><td>『ソフトウェアガイド』を参照し、正しく組み込んでください。</td></tr>
<tr><td>・表示位置がずれている
・画面が歪んでいるなど</td><td colspan="2">外部ディスプレイ装置の説明書を参照し、表示寸法、位置、糸巻き歪みなどの調整を行ってください。</td></tr>
<tr><td>同時表示ができない</td><td>外部ディスプレイ装置はSVGA対応のものですか？</td><td>VGAの解像度で同時表示を行う場合でも、外部カラーディスプレイ装置はSVGA対応のものが必要です。</td></tr>
</table>

■マイクロフォン、ヘッドフォン、オーディオ機器の問題

現　象	確認すること	対処方法
オーディオ機能が働かない	オーディオ機能の設定が有効になっていますか？	『ソフトウェアガイド』を参照し、オーディオの設定をしてください。
録音ができない	マイクのプラグが本体装置のマイク入力端子に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
	マイクの電源は入っていますか？（電源スイッチのあるもの）	電源スイッチをオンにしてください。
	オーディオ機器等のプラグが本体装置のオーディオ入力端子に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
再生ができない	ヘッドフォンのプラグが本体装置のオーディオ出力端子に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
	アンプ内蔵スピーカーのプラグが本体装置のオーディオ出力端子に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
	アンプ内蔵スピーカーの電源は入っていますか？	アンプ内蔵スピーカーの電源を入れてください。

4-2 エラーメッセージが表示されたら

本体装置を起動すると、ハードウェアなどのチェックが自動的に行われます。エラーが発生すると、エラーメッセージが表示されます。
エラーメッセージが表示されたら、そのメッセージを紙などにメモしてから対処に移ってください。
以下に、エラーメッセージ（アルファベット順）とその対処方法を示します。

エラーメッセージ	対処方法
CMOS Battery Bad	お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。
CMOS Checksum Error	
Disk Boot Failure	ドライブAにオペレーティングシステムの入ったフロッピーディスクを挿入して[Enter] キーを押してください。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、お買い求めの販売会社にご相談ください。
Diskette Drive Controller Error or No Controller Present	お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。
Diskette Drive Error	
Diskette Drive Type Mismatch	[Fn] & [F2] キーを押しセットアップ・ユーティリティでフロッピーディスク装置の設定をやり直してください。
Equipment Configuration Error	[Fn] & [F2] キーを押しセットアップ・ユーティリティでシステム設定をやり直してください。
Hard Disk 0 Error	お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。
Hard Disk 0 Extended Type Error	

（つづく）

（つづく）

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>Insert system diskette and press <Enter> key to reboot.</td><td>ドライブＡにオペレーティングシステムの入ったフロッピーディスクを挿入して［Enter］キーを押してください。</td></tr>
<tr><td>I/O Parity Error</td><td rowspan="3">お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>Keyboard Error or No Keyboard Connected</td></tr>
<tr><td>Keyboard Interface Error</td></tr>
<tr><td>Memory Size Mismatch</td><td>一度セットアップ・ユーティリティを起動させ、設定内容をセーブし、終了させてください。</td></tr>
<tr><td>Missing operating system</td><td>ハードディスクタイプがAutoになっていることを確認し、再起動してください。</td></tr>
<tr><td>Non-system disk or disk error. Replace and strike any key when ready.</td><td>ドライブAまたはドライブCに、オペレーティングシステムがありません。ドライブAまたはドライブCに、オペレーティングシステムをインストールしてください。</td></tr>
<tr><td>Pointing Device Error</td><td rowspan="5">お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>Pointing Device Interface Error</td></tr>
<tr><td>Protected Mode Test Fail</td></tr>
<tr><td>RAM BIOS Bad</td></tr>
<tr><td>RAM Parity Error</td></tr>
<tr><td>Real Time Clock Error</td><td>Fn ＆ F2 キーを押しセットアップ・ユーティリティでシステム設定をやり直してください。</td></tr>
<tr><td>Video RAM BIOS Bad</td><td>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。</td></tr>
</table>

付　録

付録A　アドレスと割込みテーブル

■システムメモリマップ

アドレス範囲	定義	機能
000000〜09FFFF	640KBメモリ	ベースメモリ
0A0000〜0BFFFF	128KB ビデオ RAM	グラフィックスディスプレイバッファに予約済み
0C0000〜0CAFFF	ビデオ BIOS	ビデオ BIOS
0E0000〜0EFFFF 0F0000〜0FFFFF	128KB システム BIOS	システム BIOS
100000〜FFFFFF	拡張メモリ	標準メモリ（16MB）
1000000〜2FFFFFF		増設メモリ（最大 48MB）
FE00000〜FFFFFFF	256KB システム ROM	OE0000〜0FFFFFのコード割り当ての複写

■ I/O アドレスマップ

アドレス範囲	デバイス
000-00F	DMA コントローラ -1
020-021	割込みコントローラ -1
022-023	LSI レジスタ
040-043	タイマ 1
048-04B	タイマ 2
060-06E	キーボードコントローラ
070-071	リアルタイムクロックと NMI マスク
080-08F	DMA ページレジスタ
0A0-0A1	割込みコントローラ -2
0C0-0DF	DMA コントローラ -2
178,17A	LSI レジスタ
1F0-1F7	ハードディスクセレクト
3F6,3F7	ハードディスクセレクト
220-22F	オーディオ（オプション）
240-24F	オーディオ（出荷時設定）
260-26F	オーディオ（オプション）
280-28F	オーディオ（オプション）
278-27F	パラレルポート -3
2E8-2EF	シリアルポート -4（COM4）
2F8-2FF	シリアルポート -2（COM2）
378,37A	パラレルポート -2
3BC-3BE	パラレルポート -1
3B4,3B5,3BA	ビデオサブシステム
3C0-3C5	ビデオサブシステム
3C6-3C9	ビデオ DAC
3C0-3CF	EGA
3D0-3DF	CGA
3E0-3E1	PCMCIA コントローラ
3E8-3EF	シリアルポート -3（COM3）
3F0-3F7	フロッピーディスク装置コントローラ
3F8-3FF	シリアルポート -1（COM1）
CF8-CFF	PCI コンフィグレーションレジスタ

■割込みレベル

プライオリティ	割込みNo	割込み要因
1	SMI	パワーマネージメントユニット
2	NMI	パリティエラー発生、I/O チャネルエラー
3	IRQ0	タイマ、カウンタ 0 出力
4	IRQ1	キーボード
	IRQ2	割込みコントローラ -2 のカスケード接続
5	IRQ8	リアルタイムクロック
6	IRQ9	INT OAh（IRQ2）にカスケードされている
7	IRQ10	オーディオ
8	IRQ11	リザーブ
9	IRQ12	PS/2 マウス
10	IRQ13	高速演算プロセッサ
11	IRQ14	ハードディスクコントローラ
12	IRQ15	リザーブ
13	IRQ3	シリアルポート -2
14	IRQ4	シリアルポート -1（出荷時設定）
15	IRQ5	パラレルポート -3／オーディオ（出荷時設定）
16	IRQ6	フロッピーディスク装置コントローラ
17	IRQ7	パラレルポート -1/-2／（出荷時設定）オーディオ

PC カードでは、他のデバイスと割り込みNoが競合しなければ、IRQ3、4、5、7、9、11が使用できます。

付録

■ DMA チャネル

チャネル	アドレス	コントローラ	機能
0	0087	1	オーディオ（出荷時設定）
1	0083	1	オーディオ（オプション）
2	0081	1	フロッピーディスク装置
3	0082	1	オーディオ（オプション）
4	カスケード	2	カスケード
5	008B	2	オーディオ（オプション）
6	0089	2	予備
7	008A	2	オーディオ（オプション）

索　引

【7】

【ア】

【イ】

【エ】

【オ】

【カ】

【キ】

【ク】

【コ】

【サ】

【シ】

【ス】

【セ】

【ソ】

【タ】

【テ】

【ト】

【ナ】

【ニ】

【ハ】

【ヒ】

【フ】

【ヘ】

【ホ】

【マ】

【ミ】

【メ】

【リ】

【ワ】

ご 注 意

□ 本書の内容の一部又は全部を当社に断りなく、いかなる形でも転載又は複製することは、固くお断りします。

□ 本書の記述内容は、ソフトウェア、ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが、やむなく同期できない場合も生じます。

資 料 名　三菱パーソナルコンピュータ
apricot シリーズ
apricotNOTE GX（M3464-D モデル）ハードウェアガイド

資料番号　A7-HR01-82A<6XA0>

1996 年 10 月 20 日　第 1 版第 1 刷発行

発行所
三菱電機株式会社　情報システム製作所
神奈川県鎌倉市上町屋 325

テクニカル・ライティング
三菱電機東部コンピュータシステム株式会社
神奈川県横浜市戸塚区川上町 87-1

本機に関するご質問、ご相談は『三菱電機お問い合わせのご案内』に記載の連絡先までお問い合わせください。